

Ⅱ 個別事業

第1 法人運営

1 組織運営

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	評議員会				

結果の概要

○法人の予算、決算、事業計画、事業報告及び業務又は財産の状況等に関する議決を行うために評議員会を年3回開催した。

実績等

回	開催日・会場	内 容	
第1回	6月19日 (水) 201~203 会議室	議案第1号 議案第2号 議案第3号 議案第4号 議案第5号 議案第6号	社会福祉法人調布市社会福祉協議会定款の一部改正 社会福祉法人調布市社会福祉協議会第25期理事の選任 社会福祉法人調布市社会福祉協議会第25期監事の選任 令和元年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会資金収支補正予算(第1号) 平成30年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会事業報告 平成30年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会決算—平成30年度決算監査報告(監事より)—
第2回	12月25日 (水) 201~203 会議室	議案第7号	令和元年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会資金収支補正予算(第2号)
第3回	3月25日 (水) 201~203 会議室	議案第8号 議案第9号 議案第10号 議案第11号	令和元年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会資金収支補正予算(第3号) 社会福祉法人調布市社会福祉協議会役員等の報酬及び費用弁償に関する規則の一部改正 社会福祉法人調布市社会福祉協議会令和2年度事業計画 社会福祉法人調布市社会福祉協議会令和2年度資金収支予算

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(2)	評議員選任・解任委員会				

結果の概要

○理事会から推薦された評議員候補者について、選任の決議を行った。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第1回	6月4日(火) 応接室	○第24期社会福祉法人調布市社会福祉協議会評議員の選任
第2回	12月12日(木) 応接室	○第24期社会福祉法人調布市社会福祉協議会評議員の選任
第3回	3月12日(木) 応接室	○第24期社会福祉法人調布市社会福祉協議会評議員の選任

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(3)	理事会				

結果の概要

○法人内の業務の決定、予算、決算、事業計画、事業報告等の議決を行うために、理事会を年5回開催した。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第1回	6月4日 (火) 団体室	議案第1号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会定款の一部改正 議案第2号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会第24期評議員候補者の推薦 議案第3号 令和元年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会資金収支補正予算(第1号) 議案第4号 平成30年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会事業報告 議案第5号 平成30年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会決算—平成30年度決算監査報告(監事より)— 議案第6号 令和元年度第1回社会福祉法人調布市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の招集 議案第7号 令和元年度第1回社会福祉法人調布市社会福祉協議会評議員会の招集
第2回	6月19日 (水) 団体室	議案第8号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会第25期会長の選定 議案第9号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会第25期副会長の

		<p>選定</p> <p>議案第10号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会第25期常務理事の選定</p> <p>議案第11号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会顧問の選任</p> <p>議案第12号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任</p>
第3回	9月19日 (木) 団体室	<p>議案第13号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会事務局組織規程の一部改正</p> <p>議案第14号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会経理規程の一部改正</p> <p>議案第15号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会臨時職員就業規則の一部改正</p> <p>議案第16号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会相談支援事業所ドルチェ運営規程の一部改正</p> <p>議案第17号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会相談支援事業所調布市こころの健康支援センター運営規程の一部改正</p>
第4回	12月12日 (木) 団体室	<p>議案第18号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会第24期評議員候補者の推薦</p> <p>議案第19号 令和元年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会資金収支補正予算(第2号)</p> <p>議案第20号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会職員就業規則の一部改正</p> <p>議案第21号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会職員の育児・介護休業等に関する規則の一部改正</p> <p>議案第22号 令和元年度第2回社会福祉法人調布市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の招集</p> <p>議案第23号 令和元年度第2回社会福祉法人調布市社会福祉協議会評議員会の招集</p>
第5回	3月12日 (木) 団体室	<p>議案第24号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会第24期評議員候補者の推薦</p> <p>議案第25号 令和元年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会資金収支補正予算(第3号)</p> <p>議案第26号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会嘱託職員の再雇用に関する規則の制定</p> <p>議案第27号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会役員等の報酬及び費用弁償に関する規則の一部改正</p> <p>議案第28号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会職員給与規則の一部改正</p> <p>議案第29号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会嘱託職員就業規則の一部改正</p> <p>議案第30号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会令和2年度事業計画</p>

		議案第31号 社会福祉法人調布市社会福祉協議会令和2年度 資金収支予算 議案第32号 令和元年度第3回社会福祉法人調布市社会福祉協議会 評議員選任・解任委員会の招集 議案第33号 令和元年度第3回社会福祉法人調布市社会福祉協議会 評議員会の招集
--	--	---

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(4)	三役会				

結果の概要

○理事会、評議員会開催へ向けての調整など、法人内の業務や、人事の調整等を行うために三役会を年4回開催した。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第1回	5月24日(金) 応接室	○第1回理事会への提出案件等
第2回	9月5日(木) 応接室	○第3回理事会への提出案件等
第3回	12月4日(水) 応接室	○第4回理事会への提出案件等
第4回	3月4日(水) 応接室	○第5回理事会への提出案件等

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(5)	監査会				

結果の概要

○理事の業務執行の状況、事業の執行状況及び財産の状況を監査するため、平成30年度決算監査と令和元年度上半期監査を開催した。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第1回	5月22日 (水) 団体室	○前回(平成30年度上半期)監査講評における留意事項について(報告) ○平成30年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会決算(事業・経理)説明 ○監査実施

		○監事からの講評
第2回	11月21日 (木) 応接室	○前回(平成30年度決算)監査講評における留意事項について(報告) ○令和元年度社会福祉法人調布市社会福祉協議会上半期決算(事業・経理)説明 ○監査実施 ○監事からの講評

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(6)	第三者委員会議				

結果の概要

○第三者委員会議では、苦情・要望の受付及び対応について報告し、解決の過程及び改善策について第三者委員よりアドバイスをいただいた。また、事故について報告した。

実績等

＜第三者委員会議＞

回	開催日	会場	内 容
第1回	9月2日(月)	応接室	○苦情・要望の受付、事故の報告 平成31年3～令和元年8月分 出席委員3名
第2回	3月2日(月)	応接室	○苦情・要望の受付、事故の報告 令和元年9～令和2年2月分 出席委員3名

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(7)	表彰審査委員会				

結果の概要

○表彰審査委員4人により、日頃からボランティア活動や福祉活動を行っている協力者をはじめ、福祉事業に対する高額寄付者などを対象に、表彰基準に照らし合わせ顕彰者を決定した。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第1回	8月6日(火) 応接室	○表彰状対象者(団体)の審査・選出 ○感謝状対象者(団体)の審査・選出 ○市民表彰枠の審査 ○アトラクションの確認

分析・課題

○市民表彰の件数は1件だった。地域の中で活動されている方は多いと思われるため、市報・ふくしの窓・ホームページ等を活用し広く広報を行う。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(8)	社協経営会議				

結果の概要

○会長、常務理事、管理職を構成メンバーとし、社協が抱える問題や緊急課題に対応するため毎月1回を基本に開催した。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第1回	4月 1日(月) 応接室	○6月4日の理事会・6月19日の評議員会案件等 ○「働き方改革研修」業務改善案の検討について
第2回	5月 7日(火) 応接室	○6月の理事会・評議員会案件等 ○総合福祉センターの更新について
第3回	6月 3日(月) 応接室	○6月の理事会・評議員会案件等 ○総合福祉センターの更新について ○役員、評議員の社協事業研修(見学)会について ○虐待防止委員会
第4回	7月 1日(月) 応接室	○9月19日の理事会案件等 ○役員、評議員の社協事業研修(見学)会について ○福祉大会のアトラクションについて
第5回	8月 5日(月) 応接室	○9月の理事会案件等 ○総合福祉センターの移転について ○福祉大会のアトラクションについて
第6回	9月 2日(月) 応接室	○9月の理事会案件等 ○総合福祉センターの移転について ○福祉大会について ○福祉まつり(参加団体説明会)について ○虐待防止委員会
第7回	10月 7日(月) 応接室	○12月12日の理事会・12月25日の評議員会案件等 ○人事考課について ○総合福祉センター移転について ○チャレンジ調布21との意見交換会について ○令和2年度に向けた予算要求状況について ○10月からのCSWの配置について ○福祉まつりの同時開催事業について
第8回	11月 5日(火) 応接室	○12月の理事会・評議員会案件等 ○人事考課について ○総合福祉センター移転について ○チャレンジ調布21との意見交換会について ○令和2年度に向けた予算要求状況について ○災害ボランティアセンター運営支援に伴う職員派遣について ○調布市災害ボランティアセンターについて

		○台風19号被災者支援募金活動について
第9回	12月 2日(月) 応接室	○12月の理事会・評議員会案件等 ○人事考課について ○嘱託職員の再雇用制度について ○パラリンピックへの協力について ○「台風19号における調布市災害ボランティアセンター」報告会について ○虐待防止委員会
第10回	1月 6日(月) 応接室	○3月12日の理事会・3月25日の評議員会案件等 ○パラリンピックへの協力について ○令和2年度に向けての予算要求状況について ○人事考課について
第11回	2月 3日(月) 応接室	○3月の理事会・評議員会案件等 ○令和2年度運営方針・事業計画案について ○令和2年度予算案の作成について
第12回	3月 2日(月) 応接室	○新型コロナウイルス感染症への対応について ○3月の理事会・評議員会案件等 ○人事考課について ○社協全体事業の担当について ○虐待防止委員会

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(9)	社協管理職会議				

結果の概要

○管理職を構成メンバーとし、社協の課題を共有し課を超えて連携をはかるために毎月1回を基本に開催した。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第1回	4月23日(火) 応接室	○6月4日の理事会・6月19日の評議員会案件等 ○「働き方改革研修」の業務改善案の検討について ○老人クラブ連合会の理事について ○むらさきロータリークラブからの寄付(10万円)について ○社協職員全体で取り組む事業のデータ格納場所について ○各課の主な事業
第2回	5月28日(火) 応接室	○6月の理事会・評議員会案件等 ○平成30年度事業報告・決算監査について ○「働き方改革研修」の業務改善案の検討について ○各課の主な事業
第3回	6月25日(火)	○9月19日の理事会案件等

	応接室	<ul style="list-style-type: none"> ○「働き方改革研修」の業務改善案の検討について ○現金引き出しの見直しについて ○各課の主な事業
第4回	7月23日(火) 応接室	<ul style="list-style-type: none"> ○9月の理事会案件等 ○役員、評議員の社協事業研修(見学)会について ○「働き方改革研修」の業務改善案の検討について ○現金引き出しの見直しについて ○総合福祉センターの移転について ○住宅支援協議会の事務局について ○各課の主な事業
第5回	8月27日(火) 応接室	<ul style="list-style-type: none"> ○9月の理事会案件等 ○総合福祉センターの移転について ○「働き方改革」に伴う業務改善案の検討について ○令和2年度予算作成について ○最低賃金の改正に伴う事業協力者の謝金の改正について ○各課の主な事業
第6回	9月24日(火) 応接室	<ul style="list-style-type: none"> ○12月12日の理事会・12月25日の評議員会案件等 ○人事考課について ○総合福祉センターの移転について ○業務改善案について ○各課の主な事業
第7回	10月29日(火) 応接室	<ul style="list-style-type: none"> ○12月の理事会・評議員会案件等 ○人事考課について ○総合福祉センターの移転について ○チャレンジ調布21との意見交換会について ○令和2年度に向けた予算要求について ○調布市災害ボランティアセンターについて ○災害ボランティアセンター運営支援に伴う職員派遣について ○嘱託職員定年(再雇用の年数)について ○各課の主な事業
第8回	11月26日(火) 応接室	<ul style="list-style-type: none"> ○12月の理事会・評議員会案件等 ○人事考課について ○嘱託職員の再雇用について ○パラリンピックへの協力について ○「台風19号における調布市災害ボランティアセンター」報告会について ○各課の主な事業
第9回	12月24日(火) 応接室	<ul style="list-style-type: none"> ○3月12日の理事会・3月25日の評議員会案件等 ○人事考課について ○嘱託職員の再雇用について ○パラリンピックへの協力について ○社福連のガイドブック作成について

		○各課の主な事業
第10回	1月28日(火) 応接室	○3月の理事会・評議員会案件等 ○人事考課について ○嘱託職員の再雇用に関する規則について ○社協全体事業の担当について ○職員の年次有給休暇の取得状況と時間外勤務について ○時間外勤務命令の15分単位へ変更について ○各課の主な事業
第11回	2月25日(火) 応接室	○3月の理事会・評議員会案件等 ○新型コロナウイルスの対応について ○職員採用について ○職員の昇任試験について ○人事考課について ○嘱託職員再雇用に関する規則の要領(案)について ○社協ホームページのリニューアルについて ○社協全体事業の担当について ○デスクネットのクラウドへの移行について ○会計伝票(振替伝票)の出力・決裁の簡略化について ○行事予定表の廃止について ○職員研修推進マニュアル(案)について ○ストレスチェックの結果について ○各課の主な事業
第12回	3月24日(火) 応接室	○6月2日の理事会・6月17日の評議員会案件等 ○新型コロナウイルスの対応について ○令和元年度の予算執行について ○職員の希望降任制度について ○社協全体事業の担当について ○各課の主な事業

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(10)	社協運営会議				

結果の概要

- 組織運営、事業運営等をスムーズに運ぶために、管理職及び係長職(相当職を含む)を構成メンバーとし、法人全体と各係からの報告と提案を行なうために、毎月1回開催した。
- 危機管理委員会としても位置付け、苦情、要望、事故、ヒヤリ・ハット事例の共有を図った。

実績等

回	開催日・会場	内 容
第1回	4月2日(火) 応接室	○調布社協における「働き方改革」に関する今後の取組について

		<ul style="list-style-type: none"> ○TKC 会計システム開始スケジュール等について ○ふくしの窓／市報の記事掲載についてルールの再確認 ○5月の10連休に向けての利用者への周知・対応などの確認 ○（社会福祉士）実習生の受入について ○社協職員新人研修の内容について ○災害時の対応、中長期計画の必要性について ○危機管理委員会
第2回	5月 8日（水） 応接室	<ul style="list-style-type: none"> ○5月14日の正職会議に向けて ○貸出室・事業室の予約管理のデスクネット化について ○危機管理委員会
第3回	6月 5日（水） 応接室	<ul style="list-style-type: none"> ○調布社協における「働き方改革」に関する取組の進捗状況について ○会費及び募金の現状と問題意識の共有について ○危機管理委員会
第4回	7月 2日（火） 応接室	<ul style="list-style-type: none"> ○決裁の整備について ○文書保管の年限について ○運営会議の報告書式について ○正規職員／嘱託職員の働き方の差分について ○現金の取り扱いについて ○会員募集／会費について ○危機管理委員会
第5回	8月 6日（火） 応接室	<ul style="list-style-type: none"> ○市報の決裁ラインについて ○予算ポイント・抽出シートについて ○部屋（事業室）予約の一本化について ○総合福祉センターの移転について ○現金予告による出金から振込への変更に関する各部署での検討結果について ○危機管理委員会
第6回	9月 3日（火） 応接室	<ul style="list-style-type: none"> ○9月19日の理事会案件等 ○総合福祉センターの移転について ○「働き方改革」に伴う業務改善案の検討について ○令和2年度予算作成について ○最低賃金の改定に伴う事業協力者の諸謝金の金額について ○危機管理委員会
第7回	10月 8日（火） 応接室	<ul style="list-style-type: none"> ○12月12日の理事会・12月25日の評議員会案件等 ○人事考課の導入について ○総合福祉センターの移転について ○職員研修について ○危機管理委員会
第8回	11月 6日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ○12月の理事会・評議員会案件等

	応接室	<ul style="list-style-type: none"> ○人事考課について ○総合福祉センターの移転について ○チャレンジ調布21との意見交換会について ○令和2年度に向けた予算要求について ○災害ボランティアセンター運営支援に伴う職員派遣について ○台風19号被災者支援募金活動（義援金、支援金）について ○嘱託職員再雇用についての検討 ○台風19号関連の対応状況の振り返り ○調布市災害ボランティアセンターの開設 ○危機管理委員会
第9回	12月3日（火） 応接室	<ul style="list-style-type: none"> ○12月の理事会・評議員会案件等 ○人事考課制度について ○嘱託職員の再雇用制度について ○パラリンピックへの協力について ○緊急災害時の職員安否確認の方法について ○危機管理委員会
第10回	1月7日（火） 応接室	<ul style="list-style-type: none"> ○3月12日の理事会・3月25日の評議員会の案件等 ○令和2年度予算要求の一次査定について ○人事考課について ○社協会員・会費の現状と今後の対策について ○危機管理委員会
第11回	2月4日（火） 応接室	<ul style="list-style-type: none"> ○3月の理事会・評議員会案件等 ○令和2年度事業計画の作成スケジュールについて ○年次有給休暇5日の取得、時間外勤務の15分単位への変更について ○職員採用・募集状況について ○人事考課の検討について ○福祉まつり、小地域、活動計画、ふくしの窓の職員体制について ○危機管理委員会
第12回	3月3日（火） 応接室	<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルス対策について ○3月の理事会・評議員会案件等 ○職員採用状況 ○福祉まつり、小地域、活動計画、ふくしの窓の職員体制について ○「働き方改革」に伴う業務改善等の取組の進捗状況について ○危機管理委員会

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(11)	課内・係内会議				

結果の概要

○各課・各係において会議を開催した。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(12)	危機管理委員会				

結果の概要

○運営会議において、危機管理委員会を設置し、苦情、要望、事故報告、ヒヤリ・ハット報告により共有を図り、事故の未然防止とサービスの安全と質の向上を図った。

第1部のP11参照

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(13)	衛生委員会				

結果の概要

○衛生管理者、職員の代表者及び産業医が参画した衛生委員会を定期的を開催し、調布社協内各職場における安全・衛生について、協議、検討を行った。

○ストレスチェック結果について、質問リストとストレス判定の対比表を作成し委員会で共有した。結果の活用方法については、今後もさらに検討を重ねることを確認した。

○職場巡視を実施することで、コーナーについては確実に環境整備が進んでいる。

○座席の位置による空調等の寒暖差が各施設での課題であるが、抜本的な解決には至っていない。

○新型コロナウイルス対応として、職員の時差出勤、休校に伴う休暇、出勤前の検温、マスクの着用を実施した。施設としては、消毒用スプレーの設置や定期的換気を実施した。

実績等報告

○衛生委員会

回	開催日	会場	内 容
第1回	5月20日(月)	総合福祉センター 1階 応接室	<ul style="list-style-type: none"> ○令和元年衛生委員自己紹介 ○衛生委員会の位置づけの確認 ○令和元年度衛生委員会活動計画について ○取り組むべき課題について ○各職場の衛生課題について ○産業医からの情報提供
第2回	7月29日(月)	総合福祉センター 1階 応接室	<ul style="list-style-type: none"> ○前回の確認事項の報告 ○各職場の衛生課題について ○産業医からの情報提供

			<ul style="list-style-type: none"> ○職員健康診断の受診状況について ○健康相談の状況について
第3回	9月30日(月)	総合福祉センター 2階 団体室	<ul style="list-style-type: none"> ○10月職場巡視の確認 ○前回の確認事項の報告 ○各職場の衛生課題について ○産業医からの情報提供 ○健康相談の状況について
職場巡視	10月10日(木)	第1コース 調布市希望の家、希望の家深大寺、緑ヶ丘コーナー、調布市希望の家分場、富士見コーナー 第2コース 市民活動支援センター、菊野台コーナー、染地コーナー、西部コーナー、こころの健康支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ○職場環境の確認、救急用品・AED、嘔吐物対応キットの点検等
第4回	11月11日(月)	総合福祉センター 1階 応接室	<ul style="list-style-type: none"> ○職場巡視の報告 ○前回の確認事項の報告 ○各職場の衛生課題について ○産業医からの情報提供 ○胃検診の受診状況について ○健康相談の状況について
第5回	1月20日(月)	総合福祉センター 2階 団体室	<ul style="list-style-type: none"> ○2月職場巡視の確認 ○前回の確認事項の報告 ○各職場の衛生課題について ○産業医からの情報提供 ○婦人科検診、インフルエンザ予防接種の受診状況について ○健康相談の状況について ○ストレスチェックの実施状況について
職場巡視	2月18日(火)	10月10日と同じコースにて(富士見コーナーは工事中で巡視なし)	<ul style="list-style-type: none"> ○職場環境の確認、救急用品・AED、嘔吐物対応キットの点検等
第6回	3月9日(月)	総合福祉センター 2階 団体室	<ul style="list-style-type: none"> ○令和元年度活動報告 ○職場巡視の報告 ○前回の確認事項の報告 ○各職場の衛生課題について ○新型コロナウイルス対応について ○ストレスチェックの結果報告 ○産業医からの情報提供

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(14)	ストレスチェックの実施				

結果の概要

- 平成27年12月からストレスチェック制度が施行されたことに伴い、ストレスについての気づきの促し及び職場環境の改善のために、令和元年12月にストレスチェックを実施した。
- 平成31年4月1日在籍者で週24時間以上勤務する職員141人に対し、職業性ストレス簡易調査票を配付した。
- 結果の分析、集計及び報告については、ストレスチェック業務を取り扱う専門業者に外部委託した。
- 個人結果について回答者個別に報告書を配付するとともに、法人全体及び部署別（課ごと）の集団分析を行った。
- ストレスチェックの結果について、衛生委員会で法人全体結果を共有するとともに、「心理的な負担の程度を把握するための検査結果等報告書」を労働基準監督署に提出した。

実績等

- 対象者数141人に対し調査票を配付した結果、117人から回答があった。
- 高ストレス判定が出た職員に対して実施事務従事者から産業医または保健師による面接指導を案内したが、職員からの申し出はなかった。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(15)	セクシュアル・ハラスメント苦情処理委員会				

結果の概要

- 今年度の開催はなかった。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(16)	個人情報保護・情報公開審査会				

結果の概要

- 今年度の開催はなかった。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(17)	税理士による経理の月例チェック				

結果の概要

- 月1回実施した。
- 税理士の指摘事項については、会計職員で共有し改善に努めた。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(18)	社会保険労務士の指導				

結果の概要

- 必要に応じて、指導を受けた。
- 働き方改革について、管理職研修と正規職員研修の講師を依頼した。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(19)	人事考課				

結果の概要

- 自己申告制度（「目標成果シート」「異動希望調査シート」「年に2回の面談」）を実施し、計画的な業務の遂行や明確な目的意識を持った職員を育成するとともに、適材適所の配置に役立てた。
- 職員育成や研修制度、給与等への反映も視野に入れて、人事考課の仕組みを検討するため、管理職によるプロジェクトを立ち上げ、外部のコンサルタントに依頼し管理職研修を実施した。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(20)	職員の資質向上（職員研修）（重点項目）	基	市	市 東社	○

※財源は実施事業により異なる

【新任研修】結果の概要

<新任研修>

- 社会福祉協議会職員としての基礎知識及び基本姿勢の習得を目的に、経験職を講師として、社会福祉協議会の理念や事業内容、職員の倫理、マナー等を行い、組織概要の理解と働くうえでの心がまえや地域資源の理解をすすめた。
- 新任係長研修を行い、係長職としての必要な業務についての理解を深めた。

<全体研修>

- 職員から要望のあった、子育て職員の育児と仕事の両立を充実したものすることを目的として、働き方の工夫や知恵を共有する情報交換会を行った。
- 管理職を対象に、人事考課制度の導入に向け理解を深めることを目的とする研修を行った。
- 年度末に企画する予定であった正規職員向け研修は、新型コロナウイルス感染症対策として今年度は中止とした。

<外部研修への参加>

- ポスト、勤務年数に応じた役割自覚と職務能力向上を目的に、全社協、東社協が行う階層別研修等に参加した。
- 担当事業の専門性を高めるため必要に応じて外部研修に年間を通じて参加した。

実績等

<新任研修>

対象	月 日	内 容	参加人数
4月採用 新任職員	4月 1日 (月)	福利厚生事務手続、勤怠、PCの使用、組織理念、調布社協の歴史、働く姿勢、予算・会計、文書事務	正規6人 嘱託4人
新任係長	4月 5日 (金)	係長の役割、労務管理、勤怠管理、予算管理、ハラスメント	2人
4月採用 正規職員	6月12日 (水)	会費説明会参加、総合福祉センター内事業説明	5人
中途採用 正規職員	7月 1日 (月) 7月 2日 (火) 7月 5日 (金)	福利厚生事務手続、経理、PCの使用、組織理念、調布社協の歴史、事業概要、利用者の人権擁護、職員倫理、施設見学 (4月採用職員2人参加)	3人
中途採用 正規職員	10月1日 (火) ～10月4日 (金)	福利厚生事務手続、経理、PCの使用、組織理念、調布社協の歴史、事業概要、利用者の人権擁護、職員倫理、施設見学	1人
中途採用 嘱託職員	5月、6月、9月、 1月、2月	福利厚生事務手続、PCの使用、 管理職による事業概要説明	7人

<全体研修>

研修名	月 日	講 師	内 容	参加人数
食と健康	6月27日 (木) 2コース	伊藤恵保健師	食事を通して健康を考える	48人
子育て職員情 報交換会	6月27日 (木)	なし	小学生以下の育児をしている女子職員の仕事との両立についての情報交換	11人
普通救命講習 (AED 従事者)	10月30日 (水) 11月18日 (月) 11月20日 (水)	(公財)東京防災救急協会 調布消防署	普通救命 (AED 従事者) 講習 4時間	46人
職員派遣報告 会	12月 3日 (火)	葛岡敦ボランティア・市 民活動推進係長	台風19号における調布災害 ボランティアセンターの対応	16人
虐待防止研修	2月19日 (水)	関哉直人弁護士	合理的配慮と支援	27人
人事考課研修	3月24日 (火)	エイデル研究所	人事考課導入に向けた管理 職研修	11人

<外部研修への参加>

研修名	月 日	主催	参加者
模擬調停	5月24日 (金)	東京地方裁判所立川支部	主事3人
区市町村社協職員 新任職員研修	5月27日 (月)	東京都社会福祉協議会	主事7人

	5月28日(火) 他1コース		
調布市「新任係長職実務研修」	6月6日(木) 7日(金)	調布市	係長1人
「地域福祉コーディネーター養成研修」<基礎編>	6月13日(火)	東京都社会福祉協議会	主任3人 主事8人
区市町村社協 運営管理研修「会計処理」	7月10日(水)	東京都社会福祉協議会	係長2人
福祉職員初任者研修	7月23日(火)	調布市福祉人材育成センター	主事9人
中堅職員研修	8月7日(水)	調布市福祉人材育成センター	主任3人 主事3人 嘱託2人
労働基準法等に関する研修	8月9日(金)	東京都福祉人材センター	管理職1人
福祉施設経営研修「施設長のための財務マネジメント初級課程」	8月19日(月)	東京都福祉人材センター	管理職2人
管理職員研修会	8月24日(土) ～8月26日(月)	全国社会福祉協議会	管理職1人
社会福祉事業従事者人権研修Ⅰ	8月26日(月) 他3コース	東京都	主任1人 嘱託3人
キャリアパス対応福祉職員職務階層別研修「中堅職員研修」	8月27日(火) 8月28日(水) 他4コース	東京都福祉人材センター	主事8人
スーパービジョン研修	9月6日(金) 他3コース	東京都福祉人材センター	係長4人
会計実務講座(入門コース)通信課程	9月15日(日) ～9月17日(火)	全国社会福祉協議会	主事1人
社会福祉事業従事者人権研修Ⅱ	9月24日(火) 他1コース	東京都	主事1人 嘱託1人
区市町村社協職員基礎研修プログラム1「社協の役割」	9月25日(水)	東京都社会福祉協議会	係長1人 主任1人 主事1人
福祉施設経営研修「施設長のための財務マネジメント中級課程」	10月21日(月)	東京都福祉人材センター	係長3人
福祉職員管理職・施設長研修	10月23日(水)	調布市福祉人材育成センター	管理職1人
区市町村社協職員基礎研修プログラム2「地域づくりとコミュニティワーク」	10月25日(水)	東京都社会福祉協議会	係長1人 主任2人 主事2人
キャリアパス対応福祉職員職務階層別研修「チームリーダー研修」	10月28日(月) 29日(火) 他2コース	東京都福祉人材センター	係長1人 主任7人

人事管理研修	11月11日(月)	東京都福祉人材センター	管理職2人
区市町村社協職員基礎研修プログラム3「ファシリテーションを学ぶ」	11月28日(木)	東京都社会福祉協議会	係長1人 主任1人 主事1人
福祉事業所のための研修体系確立・推進研修	1月29日(水) 30日(木)	東京都福祉人材センター	管理職1人
障害福祉サービス等事業者に対する経営管理研修「人材管理」	1月29日(水)	東京都福祉保健財団	管理職1人
キャリアパス対応福祉職員職務階層別研修「管理職研修」	2月6日(木) 7日(金)	東京都福祉人材センター	管理職1人
福祉施設経営研修「施設長のための社会福祉会計入門研修」	2月10日(月)	東京都福祉人材センター	管理職1人
管理職のためのメンタルヘルス講習会「体の不調は心のサイン」	2月14日(金)	東京都福祉人材センター	管理職1人
区市町村社協 運営管理研修 ⇒新型コロナ感染症対策として令和2年度へ延期	3月5日(木)	東京都社会福祉協議会	管理職1人
その他担当事業別研修参加	随時	全社協、東社協ほか 民間も含め各所	

分析・課題

- 新任職員研修は、年度途中より研修プログラムの見直しを行い、嘱託職員等の研修については所属課長より、社協のしおりを使用して法人概要を説明することとした。
- 新任職員研修プログラムに、セクハラ・パワハラ研修を追加した。
- 子育て中の職員が参加しやすい環境整備の一環として、食と健康の研修を2部構成で開催した。
- 今年度初めて、子育て中の女子職員対象に、情報交換会を実施した。限られた勤務時間での工夫など有意義な話し合いが出来た。
- 希望の家主催の虐待防止研修を法人全体研修に位置づけて実施したが、希望の家職員以外の参加が少なかった。周知方法の検討が必要であった。
- 昨年度に引き続き、福祉人材育成センターと連携し、研修に参加することで職員の意識だけでなく業務の質を高めた。
- 外部研修については、法人としての人材育成以外にも、各部署における業務上必要な知識や技術の習得に向け、職員が積極的に参加できるように各部署で対応した。講義等で学ぶ内容以外に、他の組織で働く同じ職務や階層の人たちとの交流により、刺激を受けたり気づきを得たりすることにも大きな意義があるので、今後も効果的に活用していきたい。
- より良いサービス、支援の提供ができるように職員個々の資質の向上、組織力の強化及び必要な資格の取得ができるように、日常業務との兼ね合いを図りながら、限られた研修費のなかで、効率的な研修の実施及び参加を進めたい。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(21)	職員健康相談		市		

結果の概要

○定期的、継続的な相談により職員の心身の健康状態の変化に気づく機会となった。

分析・課題

○メンタル疾患者の増加、ストレスチェックの義務化に伴い、社協組織においてメンタルヘルス対策は大きな課題となっている。そのため、産業医や健康相談員の存在も大きく、職員が安心して相談できる体制を維持・強化する必要がある。

2 部会・委員会

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	総務部会				

結果の概要

○社協の会費や募金活動で集まった資金が、小地域交流事業やひだまりサロン事業等の地域住民の交流や支えあい活動を支えていることを知ってもらい、会費協力のない自治会への効果的なアプローチを検討するため、自治会へのアンケート調査の実施に向けて準備を進めた。

実績等

回	開催日	会場	内容
第1回	6月7日(金)	応接室	○令和元年度の総務部会について ○令和元年度調布社協会員募集について
第2回	9月6日(金)	応接室	○会費協力のない自治会や管理組合に対する働きかけについて ○第31回調布市福祉大会について ○令和元年度会員募集中間報告
第3回	12月20日(金)	応接室	○会費協力のない自治会や管理組合に対する働きかけについて ○令和元年度会員募集中間報告
第4回	3月13日(金)	応接室	中止

分析・課題

○社協会費が年々減少していることから、会費に協力いただけない自治会に対して、効果的なアプローチの仕方を検討するために自治会へのアンケート調査実施に向けて準備を進めた。

○自治会数も減少傾向にあるため、企業や団体に対しても積極的に会員加入依頼を行うと共に、より気軽に募金が出るようなシステム導入を検討する。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(2)	広報部会				

結果の概要

○ふくしの窓の校正原稿を基に、わかりにくい表現や用語がないかチェックし、伝わりやすい紙面構成に努めた。

○ホームページのリニューアルに向けて、現在のホームページを確認し意見を出し合った。

実績等

回	開催日	内 容
第1回	4月3日(水)	○ふくしの窓 255号(3月)の振り返り ○ふくしの窓 256号(5月)の校正・確認
第2回	6月4日(火)	○ふくしの窓 256号(5月)の振り返り ○ふくしの窓 257号(7月)の校正・確認 ○ホームページの検討
第3回	8月1日(木)	○ふくしの窓 257号(7月)の振り返り ○ふくしの窓 258号(9月)の校正・確認
第4回	10月3日(木)	○ふくしの窓 258号(9月)の振り返り ○ふくしの窓 259号(11月)の校正・確認 ○ホームページの検討
第5回	11月28日(木)	○ふくしの窓 259号(11月)の振り返り ○ふくしの窓 260号(1月)の校正・確認 ○ふくしの窓 261号(3月)について
第6回	1月28日(火)	○ふくしの窓 260号(1月)の振り返り ○ふくしの窓 261号(3月)の校正・確認

分析・課題

○ふくしの窓が平成30年度から全号フルカラー印刷となったが、カラー構成や写真の効果的な見せ方など見やすい紙面になるよう工夫していく必要がある。

○ふくしの窓やホームページ以外の様々な媒体を利用した情報発信の方法についても検討していく。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(3)	調布市希望の家及び希望の家深大寺運営委員会			市	

結果の概要

○利用者主体の施設運営に、市民の声を反映することができた。

第3部のP8参照

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(4)	市民活動支援センター運営委員会			市	

結果の概要

○市民主体の開かれた運営を基本としさらなる充実を目指した。

第2部のP3参照

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(5)	調布市こころの健康支援センター運営委員会			市	

結果の概要

○市民主体の開かれた運営を基本としさらなる充実を目指した。

第4部のP33

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(6)	共同募金調布地区配分推薦委員会	他			

結果の概要

○地域における共同募金の配分について、地域の福祉ニーズを反映させることを目的として、東京都共同募金会の配分委員会に対する意見具申を行った。令和元年度は18団体の推薦を行い、合わせて申請受付や推薦の基準についても話し合った。

実績等

回	開催日	会場	内容
第1回	6月24日(月)	団体室	<ul style="list-style-type: none"> ○委員長あいさつ ○共同募金調布地区配分推薦委員会設置要綱について ○共同募金調布地区配分推薦委員会配分推薦基準について ○地域配分(B配分)申請書類について ○令和元年度 地域配分(B配分)広報活動について ○令和元年度地域配分(B配分)申請団体申請額及び推薦額について ○令和元年度配分推薦委員会の流れ
第2回	11月19日(火)	団体室	<ul style="list-style-type: none"> ○広報活動報告 ○配分推薦基準 ○審査方法説明 ○申請施設・団体一覧 ○令和元年度配分推薦委員会の流れ

第3回	1月20日(月)	団体室	○資料及び審査方法確認 ○地域配分申請事業審査 ○令和元年度歳末たすけあい配分計画について
-----	----------	-----	---

分析・課題

- 申請については、都共募と調布独自の書類など提出書類も多いため、団体によっては申請段階で書類の作成補助や確認など丁寧な対応が必要となっている。
- 受配団体にも街頭募金や募金箱の設置など共同募金運動に協力してもらうよう、引き続き働きかけを行っていく。
- 昨年度より申請団体の増加により、宿泊訓練・日帰り訓練事業の申請はバスの借上げ、有料道路、乗務員の経費のみの配分とし、助成決定額が申請額よりも減額となっている。その結果、当初の計画の変更を余儀なくされる団体も増えてきている。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(7)	あんしん未来支援事業審査会		市		

結果の概要

- あんしん未来支援事業を適正、かつ円滑に実施するため、事業の実施状況について必要な報告をするほか、当該実施状況に関して審査を行った。(詳細はあんしん未来支援事業報告参照)

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(8)	調布市福祉人材育成センター運営委員会			市	

結果の概要

- 事業の適切な運営、実施について協議した。(詳細は調布市福祉人材育成センター事業報告参照)

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(9)	子ども・若者総合支援事業運営委員会			市	

結果の概要

- 運営委員会(学識経験者、教育・福祉関係者等)を4回開催した。事業の進捗状況を報告し、委員の方より意見及び助言をいただいた。(詳細は調布市子ども・若者総合支援事業報告参照)

3 財政基盤

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	会費の拡大【重点項目】				

結果の概要

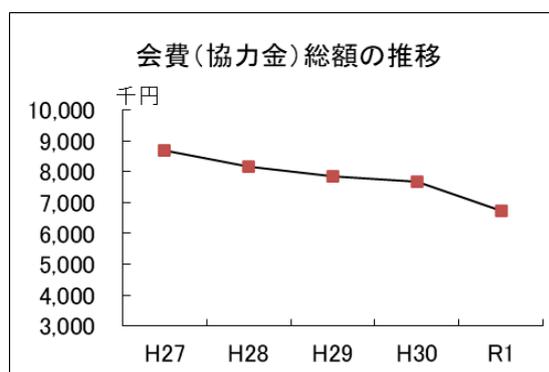
- 自治会、民生児童委員、個人、法人等のご協力により、6,748,788円の会費及び協力金をいただき、ひだまりサロン、相談事業等、以下の事業に活用した。
- 法人・団体へ複数回依頼を行ったが、企業からの協力は昨年度と比較して約65%に留まった。
- 会員募集運動に協力いただいた自治会、婦人会が取りまとめた会費実績の9%を申請に基づき地域福祉活動費として交付した。

No.	事業名	No.	事業名
1	災害対策	6	地域相談事業
2	会員管理	7	あったか支援金
3	地域福祉活動計画	8	ボランティア活動推進
4	ひだまりサロン	9	見守りあんしん訪問
5	小地域交流事業	10	緊急援護資金貸付

実績等

会員種別	会員数(人)	会費額(円)
個人会員	5,205	2,605,220
賛助会員	1,233	1,787,030
団体会員	92	805,331
特別賛助会員	56	829,775
協力会員	3,230	721,432
会費合計	9,816	6,748,788

取り扱い別	件数(件)	会費額(円)
自治会・婦人会扱	9,190	5,036,829
民生児童委員扱	54	165,000
社協役員等扱	239	338,500
団体	92	805,331
個人・老人クラブ	241	403,128
合計	9,816	6,748,788



年度	会費(協力金)総額
平成27年度	8,693,927円
平成28年度	8,173,364円
平成29年度	7,861,345円
平成30年度	7,690,913円
令和元年度	6,748,788円

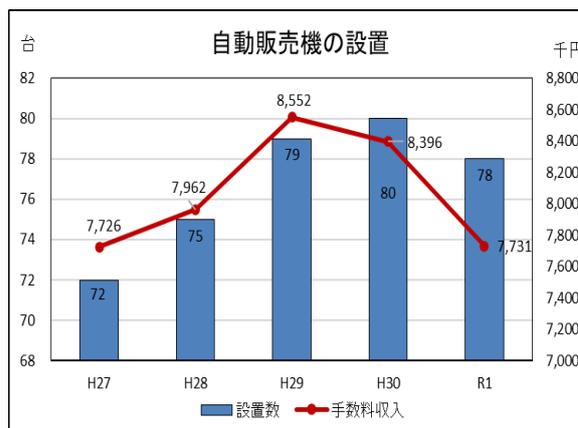
分析・課題

- 会員数・会費は年々減少している。自治会数も減少しているため、より手軽に会員になれるような仕組み作りを検討していく。
- 協力いただいた会費がどのように使用されているのかを知ってもらうため、パンフレットやポスターなどで分かりやすく掲載し、会費の使われ方が身近に感じられるように工夫をしていく。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(2)	収益事業				

結果の概要

- 総合福祉センター内の自動販売機については、ボランティア団体の協力を得て、販売商品を説明する点字をつけ、視覚障がい者の方にも購入しやすいよう工夫している。
- 確保した自主財源は、地域福祉推進のために活用した。



実績等

自動販売機設置場所	台数	自動販売機設置場所	台数
調布市役所	2台	国領駅前ココスクエア駐車場	6台
調布市グリーンホール	2台	調布福祉作業所	1台
関東村跡地	7台	西調布体育館	1台
緑ヶ丘テニスコート	1台	西町公園	1台
深大寺テニスコート	1台	深大寺老人憩の家	1台
多摩川テニスコート	2台	調布市こころの健康支援センター	2台
西町少年野球場	1台	つつじヶ丘児童館	1台
調布市希望の家	1台	飛田給スタジアム通り	2台
調布市西部公民館	1台	西部地域福祉センター	1台
調布市北部公民館	1台	入間地域福祉センター	1台
調布市教育会館	1台	調布ヶ丘地域福祉センター	1台
調布駅北口入口横	3台	深大寺地域福祉センター	1台
大町スポーツ施設	1台	染地地域福祉センター	2台
飛田給駅北自転車駐車場	1台	菊野台地域福祉センター	1台
調布中前児童遊園	2台	布多公園	1台
調布市総合福祉センター	7台	多摩川市民広場	2台
郷土博物館	1台	下石原地域福祉センター	1台
郷土博物館分室	2台	金子地域福祉センター	1台
八雲台ふれあいの家	2台	多摩川五丁目児童遊園	1台
上石原ふれあいの家(保育園)	1台	小島町倉庫	1台
下布田ふれあいの家(保育園)	1台	下布田公園	1台
調布市文化会館たづくり	2台		
調布市議会事務局	1台		
多摩川緑地公園	3台		
調布市シルバー人材センター	1台	合 計	78台

分析・課題

- 自販機の設置、自販機による清涼飲料水を購入いただくため、周知をしていく必要がある。
- 状況、ニーズに応じて、設置する機器を検討しながら増設を目指す。
- 販売数を多く見込める設置場所を開拓し、自主財源の確保に努めていきたい。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(3)	広告料収入				○

結果の概要

- 「ふくしの窓」への広告掲載として、1回の発行につき最大11コマ・年間6回の広告掲載スペースを確保し、市内企業等に1コマ20,000円の広告を掲載していただいた。

実績等

- 企業・団体から計42コマに広告掲載の申込をいただき、840,000円の収入があった。

分析・課題

- 昨年度に比べると掲載コマ数は2コマ減ったが、新規掲載については2社あり、連続した広告料収入につながった。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(4)	研修生受け入れ収入				

結果の概要

- 将来、福祉職や教職を目指す人材の支援・育成を目的に受け入れを行っている。
- 実習スケジュールを計画的に編成し、社会福祉士等養成の実習生を受け入れ、研修生受入収入を得ることができた。

実績等

	学校・企業数	人数	収入
大学・短大 専門学校	15校	19人	706,741円
企業の職員研修 等	3企業	38人	74,000円
合計	18	57人	780,741円

※学校・企業数、人数については、研修生受入収入が発生するもののみカウントしている。

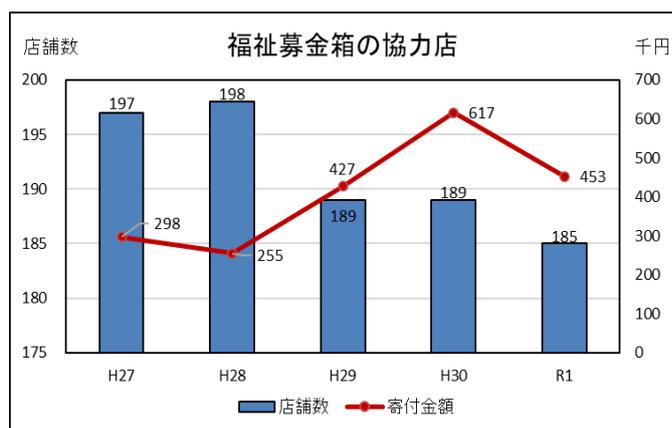
番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(5)	募金箱の設置				

結果の概要

○昨年に比べ寄付金額は163,784円減額した。

実績等

福祉募金箱設置協力店数	185店
寄付金額	452,870円



分析・課題

- 社協の宣伝も踏まえ、募金箱設置店にふくしの窓や社協のしおり等の広報物、会員募集のリーフレットの配架を依頼する等、積極的な普及活動を行っていく。
- 地域福祉コーディネーターをはじめ、募金箱設置店のある地域を活動領域とする他の事業担当者連携し、定期的な設置店の訪問により深い地域とのつながりづくりを図る。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(6)	寄付金収入				

※決算額は福祉募金箱を含む寄付金収入の額

結果の概要

○定期的にご寄付をお持ちくださる個人、団体等、多くの市民のみなさんからの福祉への思いを浄財として寄付という形でお寄せいただいた。

実績等

<寄付金額（福祉募金箱含）>

件数	寄付金額
364件	8,500,931円

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(7)	障害者総合支援法に基づく事業所収入				

結果の概要

○障害者総合支援法の指定事業所として、指定相談支援事業、同行援護事業を行った。

実績等

事業名	令和元年度収入
指定相談支援事業	4,564,515円
障害児相談支援事業	137,000円
指定相談支援事業（こころ）	12,921,813円
障害児相談支援事業（こころ）	0円

同行援護事業	14,667,587円
生活介護事業所（希望の家深大寺）	66,618,342円
合計	98,909,257円

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(8)	赤い羽根共同募金会からの収入				
(9)	歳末たすけあい運動からの収入				

結果の概要

○社会福祉法人調布市社会福祉協議会として東京都共同募金会へ地域配分（B配分）を申請し、1,598,000円の配分を受けた。また、平成30年度に歳末たすけあい運動で寄せられた募金（6,550,289円）を地域福祉活動費として、東京都共同募金会から收受し、ひだまりサロン事業やボランティア活動の推進などに活用した。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(10)	補助金収入				
(11)	受託金収入				

結果の概要

○調布市からの補助金並びに東京都社会福祉協議会及び調布市からの委託金を次の事業実施のため収入した。

①補助金

（調布市）

No.	事業名	No.	事業名
1	法人運営費	11	中途失聴・難聴者のための手話講習会
2	ひだまりサロン	12	健康支援金の支給
3	高齢者会食サービス	13	地域福祉コーディネーター
4	高齢者訪問理美容サービス	14	福祉団体助成金
5	電話訪問	15	福祉サービス利用援助
6	友愛訪問	16	ボランティア活動推進
7	福祉機器貸出	17	希望の家深大寺
8	あんしん未来支援事業	18	調布市障害者日中活動系サービス推進事業
9	手話講習会	19	福祉人材育成事業
10	手話通訳者派遣		

②受託金

（調布市）

No.	事業名	No.	事業名
1	通所介護及び介護予防通所介護	14	調布市総合福祉センター運営
2	介護予防・生活支援サービス事業	15	調布市希望の家

3	ふれあい給食	16	市民活動支援センター
4	知って活かそう介護予防	17	調布市こころの健康支援センター
5	老人クラブ育成	18	障害者就労支援事業
6	障害者相談支援	19	子ども・若者総合支援事業
7	障害者地域活動支援センター	20	生活困窮者自立支援事業
8	在宅障害者（児）緊急一時保護	21	生活困窮者家計改善支援事業
9	地域福祉活動支援事業	22	高齢者家事援助ヘルパー養成研修
10	高次脳機能障害相談支援事業	23	福祉人材育成センター
11	受験生チャレンジ貸付	24	生活支援コーディネーター
12	放課後等デイサービス事業	25	発達障害者支援
13	障害者等雇用		

③東京都社会福祉協議会

No.	事業名
1	生活福祉資金貸付
2	地域福祉権利擁護事業
3	臨時特例つなぎ資金
4	ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付

実績等

○令和元年度の補助金及び受託金は、以下のとおりである。

区 分	金 額
調布市補助金	358,060,325円
調布市受託金	584,190,652円
東京都補助金	0円
東京都社会福祉協議会受託金	22,620,000円
合 計	964,870,977円

4 啓発・普及・宣伝事業

(1) 啓発事業

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)①	福祉大会	会寄基			

結果の概要

○第31回調布市福祉大会を開催し、市内の地域福祉・在宅福祉増進のために、日頃からボランティア活動、福祉活動を行っている協力者をはじめ、福祉事業に対する高額寄付者を顕彰した。

○ちょうふチャリティーウォーク実行委員会の水田征吾氏に、ちょうふチャリティーウォークの様子や

地域活動について話をしていただいた。

- 福祉大会参加者への記念品として、市内の福祉作業所の手作り品を配布した。
- 2部のアトラクションは、パラスポーツを知ってもらうために、車いすバスケットボールプレイヤーの篠田匡世選手を招き、ご自身の体験やパラスポーツについて講演をしていただいた。また、実際の競技用車いすのデモンストレーションや体験も行い、会場は盛り上がった。

実績等

開催日時	令和元年10月2日(水)午後2時～4時
会場	調布市文化会館たづくり くすのきホール
参加者	327人
内容	第1部 式典 表彰・感謝状対象者：社協219人 共同募金45人 活動発表：ちょうふチャリティーウォーク実行委員会 水田征吾氏 第2部 アトラクション 車いすバスケットボールプレイヤー 篠田匡世選手

分析・課題

- 日頃の感謝を直接伝える良い機会となっている。様々な場所で受賞者を伝えられたため、今後のやりがいや事業の充実・拡大に繋がると感じた。
- アトラクションは、パラスポーツを応援するため、車いすバスケットボールプレイヤーの篠田選手を講師に招き、自身の体験やパラスポーツについてお話いただいた。講話をきっかけにパラスポーツに興味・関心を持つきっかけになった。
- 市の協力により、広くチラシを配架することができたため、昨年よりも参加者が増加した。

番号	事業名	財源			
		自主 会基	補助	委託	事業
(1)②	福祉講演会				

結果の概要

- 「ちょうふ地域福祉フォーラム」に形を変え開催した。(第1部のP93参照)

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)③	第42回調布市福祉まつり				○

結果の概要

<調布市福祉まつり実行委員会が運営>

- 福祉まつりの実施に向けて、参加団体から実行委員会を7月に立ち上げた。実行委員13人が会場、広報、体験の3つのグループに分かれ、内容を検討した。

実行委員長 小川 時雄 (調布市社会福祉協議会理事)
副実行委員長 杉山 典子 (調布市茶道連盟)
山田 なおみ (社会福祉法人新の会 はあと・ふる・えりあ)



実行委員会開催回数 4回（うち1回は令和元年12月に開催の反省会）
※その他、各グループで随時集まり検討した。

<交流の促進>

○昨年度に引き続き「交流」をテーマに企画を実施。

①参加団体の交流

土曜7団体、日曜5団体の参加曜日を入れ替え。団体同士の交流を促進するために、説明会と最終説明会、反省会でグループ交流を実施。

②カフェ&ショップめぐりの実施

当日だけでなく、参加団体同士の交流の輪を広げ、お互いを知り合うために、福祉まつりに参加する福祉作業所等が運営するカフェやショップに足を運び、参加団体同士の交流を昨年度に引き続き実施。さらに、今年度は実施期間を来年の福祉まつり前日（12/4予定）まで、対象を市民まで拡大して実施。福祉まつり当日に「カフェ&ショップめぐりガイドマップ」を来場者へ配布。参加者には、来年の福祉まつり（12/5・6予定）にて、景品を渡す。

<会場のエリア分け・案内表示>

○福祉まつりの各会場を以下のとおりエリア分けを行った。

①「手づくり品・バザーひろば」・・・福祉作業所や福祉団体等の手づくり品販売、奉仕団体やボランティア団体等によるバザーのある調布駅前広場のテントエリア（一部総合福祉センター含む）

②「模擬店ひろば」・・・飲食のできる調布駅前広場の模擬店エリア

ステージ付近に模擬店エリアを設置することで人が集まるよう工夫した。

テントに大きな番号をつけ、遠くからでもテント番号がわかるようにした。

また、当日パンフレットにテント番号、団体、活動内容の一覧をのせ、わかりやすさを目指した。

<「あいはこちら みんなで作ろう調布のわっか」をテーマに広報を展開>

○昨年度に引き続き、市民が一体となるよう「あいはこちら みんなで作ろう調布のわっか」をテーマとして掲げた。

①事前チラシ

自治会や公共施設、駅、商店、児童関係施設（保育園、幼稚園、小学校、特別支援学校）等への配布

②ポスター

ア 参加団体、公共施設、商店等へ配布

イ 自治会へ配布

③調布FM、JCOMへの出演

④市報、ふくしの窓一面への掲載

⑤当日用プログラム

ア 会場図等を掲載

イ ステージプログラム、トレジャーツアー・ぬりえ景品、会場機材の協賛企業や協力団体等を掲載

<サニーくんのぬりえ企画を実施>

○事前チラシの裏面がサニーくんのぬりえになっており、グリーンホール小ホールのブースに持参した方には、お菓子などの景品をプレゼントするコーナーを設置。

○トレジャーツアーの実施

①しれいをクリアスタンプを集めると豪華景品が当たる抽選券を配布するトレジャーツアーを実施。景品は、企業等から協賛をいただいた。

- ②しれいを総合福祉センター内の福祉体験のみにすることで、福祉体験をする機会を増やし福祉理解・啓発へつながるようにしている。
- ③トレジャーツアーをクリアした方を対象とした抽選会を例年のグリーンホール小ホールから駅前広場ステージにて実施。会場全体がさらに盛り上がった。

<まだまだあるよツアーの実施>

○これまで実施してきたトレジャーツアーだが、抽選会が始まると総合福祉センター内への来場者が減ってしまう、締め切り時間があるため参加できない人がいるといった課題があった。そのため昨年度に引き続き実施。交流を深めていけるよう総合福祉センター内の福祉体験を3つクリアしスタンプを集めるとサニーくんオリジナル缶バッジ作成か作成済み福祉体験できた缶バッジと景品がもらえる。景品は、企業等から協賛をいただいた。

○ステージイベントの充実

- ①調布駅前広場にステージを設置し来場者増加を目指した。また、プラカードでメイン会場への誘導を行い、会場全体をまわってもらえるよう工夫した。
- ②ゆるキャラが会場内を練り歩くことで会場を盛り上げた。
- ③ステージ前には椅子や机等の休憩スペースを設置。
- ④ステージの音響は、近隣住民への配慮を最優先とし、最低限の音量に設定した。
- ⑤司会者については、両日ボランティアと実行委員、職員が担当した。
- ⑥昨年度に引き続き、「みんなで作ろう調布のわっか」を両日のオープニングとして、実行委員と職員が平賀邦輝氏（土曜日のみ生歌）の歌に合わせて踊りを披露。
- ⑦両日フィナーレでは、テーマソングである「あいはここから」を愛沢法子氏（実行委員：視障協会長）にステージ上で歌っていただき、抽選会開催まで会場を盛り上げた。

<体験コーナーの充実（総合福祉センター）>

- 201～203会議室で土曜、日曜それぞれ専門機関による相談コーナーを設けた。
- 株式会社エクシオテックに協力いただき音声での会場案内を実施。
- 株式会社サカイ・ヘルスケアに協力いただきスロープを設置。
- 土曜は愛沢法子氏（実行委員：視障協会長）の協力のもと、盲導犬体験を実施し、盲導犬とのふれあいを行った。
- 今年度は、情報障がいのある方の情報取得手段について、録音図書や布の絵本等を展示し普及啓発を行った。
- 福祉体験をより充実させるため昨年度に引き続き音楽療法体験を実施した。
- 昨年度ご協力いただいた方を中心にボランティアを募った。当日は近隣大学や中学校、参加団体、地域住民など大勢の方にご協力いただいた。市民一体となってまつりを盛り上げることを目指した。

<参加団体のPR>

- 福祉団体を中心に模造紙で団体紹介を作成。各団体手づくりの模造紙はそれぞれに特色があって、福祉まつりの温かい雰囲気を醸し出すPRとなった。
- 福祉まつり開始前から、総合福祉センター1階のウィンドウに掲示し、団体の活動を周知した。

<参加団体による福祉まつり運営の協力>

- チラシの配布等の手伝いで参加団体にも運営を協力いただいた。

<調布市交通安全協会の協力>

- 土曜2人、日曜7人の会員を派遣して協力をいただいた。歩行者、車両の安全確保がスムーズに行えた。

<ゆるキャラの参加>

○まつりを盛り上げるため、調布に縁のあるゆるキャラが大集合した。

- ①しほたん（司法書士会）
- ②きたみん（東山病院）
- ③きゅんた（小田急バス）
- ④柴崎さき（グリーティング in 多摩）
- ⑤ギャネック（ユウグライド）
- ⑥ハーモニー（仙川商店街協同組合）
- ⑦激辛グランマサラ（激辛グラン～調布のカレーヒーロー～）
- ⑧千一坊（調布市 生活文化スポーツ部 文化生涯学習課）
- ⑨ちょビット（調布市社会福祉協議会）

<ゴミステーション設置>

○会場にゴミ箱を設置せずにゴミステーションを設置した。
ステーションにスタッフを配置することで効率よくゴミ収集ができた。

<調布駅前広場の使用>

- 今年度は、調布駅前広場をメイン会場としたため、より多くの人に福祉まつりを知ってもらうことができた。
- 昨年度に引き続き、トヨタモビリティ東京株式会社の協力のもと、福祉車両の展示、乗降体験を実施。また、案内所として受付テントを設置し調布駅を利用する方に対して、当日プログラムやトレジャーツアーの台紙、風船の配布を行い総合福祉センターへの案内をした。

<岩手・鳥取・徳島妖怪文化連携事業「妖怪降臨ピック with ゲゲゲ忌 2019」同時開催>

○3県が妖怪文化で連携し、地域活性化の推進や観光誘客を図ることを目的に妖怪降臨ピックを同時開催し、福祉まつりを盛り上げた。3県物産・観光PRブースを実施。ステージでは、岩手県「さんさ踊り」、徳島県「阿波おどり」を披露。

<調布市・調布市福祉作業所等連絡会「パラアート展 PR ブース」同時開催>

○障がい者のスポーツのみならず、芸術文化の発展に繋げるため、市内の障がい者の視点で発信することを目的に、12月4日（水）～11日（水）にたづくり等で開催予定の「パラアート展」PRブースを同時開催し、福祉まつりを盛り上げた。市内福祉作業所などから募集した作品の一部を展示。

実績等

○来場者数・団体数

日程	来場者（推計）	参加団体	収益金
1日目	7,000人	49団体	824,338円 ※41回786,575円
2日目	8,000人	47団体	2,776,085円 ※41回3,005,614円
合計	15,000人	延べ96団体 ※実数94団体	3,600,423円 ※41回3,792,189円

○内容

11月30日(土)

①出店

内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・手づくり品の販売 ・模擬店 ・バザー ・相談コーナー ・体験コーナー ・PR展示
会 場	調布駅前広場、総合福祉センター

②ステージイベント

内 容	参加団体や地域の団体によるステージイベント
会 場	調布駅前広場（特設ステージ）
出 演 者	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉まつり実行委員会 ・姫としもべと看板娘 ・わかばの会 ・山田病院 デイケアつつじヶ丘クラブ ・しごと場大好き ・クッキングハウス ・あいあい保育園 ・ポコポコ・ホッピング ・調布市民合唱団 ・調布市高齢者支援室 ・徳島県（妖怪降臨ピック） ・岩手県（妖怪降臨ピック） ・ちょうふだぞう ・調布ドリーム ・めじろ作業所 ・こころの健康支援センター合唱部

③福祉体験コーナー

内 容	さまざまな福祉にふれる体験コーナー		
会 場	総合福祉センター2階・3階・4階・5階		
体験内容	車いす（市民活動支援センター）	来場者	212人
	スルーネットピンポン（さるすべり）		300人
	ボッチャ（ドルチェ）		285人
	バリアフリー映画（DEMAE調布）		49人
	手話（調布市聴覚障害者協会） （調布市登録手話通訳者の会）		350人
	盲導犬（愛沢さん、もみじちゃん）		350人

	音楽療法（ドルチェ）		120人
	こころの健康支援センター		447人
	ドッチビー（スポーツ推進委員）		284人

④相談コーナー

内 容	各種専門家による相談		
会 場	総合福祉センター2階		
相談内容	葬送、終活（ソウギSOS）	相談件数	5件
	税務（東京税理士会武蔵府中支部）		3件
	法律（東京司法書士会調布支部 多摩南部成年後見センター）		4件
	遺言、相続、成年後見（東京都行政書士会調布支部）		1件
	法律相談（東京三弁護士会多摩支部）		2件
	年金、労務問題（東京都社会保険労務士会武蔵野統括支部）		4件

⑤トレジャーツアー

内 容	しれいをクリアすると豪華景品があたる抽選会に参加できるイベント
会 場	総合福祉センター、グリーンホール小ホール
し れ い	【台紙配布場所】 駅前広場受付、本部、その他各会場予備あり 【しれい】『総合福祉センターへ行って福祉体験をせよ！隠された6文字を見つけよ！』
参 加 者	309人

⑥まだまだあるよツアー

内 容	総合福祉センター内のポイント3カ所を体験するとサニーくんオリジナル缶バッジ作成か作成済み福祉体験できたよ缶バッジと景品がもらえるイベント
会 場	総合福祉センター
参 加 者	93人

⑦ぬりえ

内 容	サニーくんイラストのぬりえコーナー ぬりえを提出すると景品をプレゼント
会 場	グリーンホール小ホール
参 加 者	246人

⑧福祉車両展示・体験会

内 容	福祉車両展示、乗降体験、簡易ボッチャ体験
-----	----------------------

会 場	調布駅前広場
参加者	171人
協 力	トヨタモビリティ東京株式会社

⑨妖怪降臨ピック with ゲゲゲ忌 2019 (同時開催事業)

内 容	3県が妖怪文化で連携し地域活性化の推進 3県物産・観光PRブース ステージ出演、妖怪・ゆるキャラ等参加
会 場	調布駅前広場
主 催	岩手・鳥取・徳島 妖怪文化連携事業

12月1日(日)

①出店

内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・バザー ・模擬店 ・手作り品の販売 ・PR展示 ・チャリティー茶会 ・相談コーナー ・体験コーナー
会 場	調布駅前広場、総合福祉センター、たづくり茶室

②ステージイベント

内 容	参加団体や地域の団体によるステージイベント
会 場	調布駅前広場 (特設ステージ)
出 演 者	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉まつり実行委員会 ・調布市立第八中学校 ダンス部 ・調和 SHC 倶楽部 ダブルダッチ教室 ・調和 SHC 倶楽部 チーム調和 ・調和 SHC 倶楽部 タウティアレ・フラ ・青木病院 ・老人クラブ連合会女性部 ・調和 SHC 倶楽部 ベイビージャム・キャンディー ・国際ソロプチミスト東京 - 調布 ・SOLID ・ShKen 橋本 ・調和 SHC 倶楽部 フェアリーズ ・仙川カルチャーセンター ・THE ごこく ・福祉まつり実行委員会

③福祉体験コーナー

内 容	さまざまな福祉にふれる体験コーナー
-----	-------------------

会 場	総合福祉センター2階・3階・4階・5階		
	スルーネットピンポン（さるすべり）		407人
	ボッチャ（ドルチェ）		442人
	バリアフリー映画（DEMAE調布）		64人
	点字（菊野台点字サークル）		295人
	盲導犬（日本盲導犬協会）		367人
	ドッチビー（スポーツ推進委員）		442人

④相談コーナー

内 容	専門家による相談		
会 場	総合福祉センター2階		
相談内容	医療・生活（東京都医療社会事業協会第7ブロック）	相談件数	4件
	健康・禁煙（調布市医師会）		18件 （タバコクイズ241件）
	終活（あんしんシニアサポート）		2件 （認知症テスト27件）

⑤トレジャーツアー

内 容	しれいをクリアすると豪華景品があたる抽選会に参加できるイベント		
会 場	総合福祉センター、グリーンホール小ホール		
し れ い	【台紙配布場所】 駅前広場受付、本部、その他各会場予備あり 【しれい】『総合福祉センターへ行って福祉体験をせよ！隠された6文字を見つけよ！』		
参 加 者	360人		

⑥まだまだあるよツアー

内 容	総合福祉センター内のポイント3カ所を体験するとサニーくんオリジナル缶バッジ作成か作成済み福祉体験できたよ缶バッジと景品がもらえるイベント		
会 場	総合福祉センター		
参 加 者	64人		

⑦ぬりえ

内 容	サニーくんイラストのぬりえコーナー ぬりえを提出すると景品をプレゼント		
会 場	グリーンホール小ホール		
参 加 者	286人		

⑧福祉車両展示・体験会

内 容	福祉車両展示、乗降体験、簡易ボッチャ体験
会 場	調布駅前広場
参加者	296人
協 力	トヨタモビリティ東京株式会社

⑨パラアート展 PR ブース

内 容	12月4日（水）～11日（水）にたづくり等で開催予定の「パラアート展」PRブース。市内福祉作業所などから募集した作品の一部を展示。
会 場	調布駅前広場
主 催	調布市、調布市福祉作業所等連絡会

⑩調布市福祉まつり de かくれんぼ

内 容	認知症普及啓発活動。 スマホアプリ「みまもりあい」を使用して駅前広場にいる5人の対象者を探す。見つけたらシールをもらい景品がもらえるイベント。
会 場	調布駅前広場
参加者	16人（クリアした人数）
主 催	医療法人社団梟社会

⑪街頭募金

内 容	調布リトルリーグ野球協会の少年達による街頭募金		
会 場	調布駅前広場、その他市内京王線全8駅		
協力団体	調布リトルリーグ野球協会	寄 付 金	262,385円

○収益金配分（配分先及び金額）及び経費

1 福祉団体	320,000円
1 調布市身体障害者福祉協会	90,000
2 NPO 法人調布心身障害児・者親の会	90,000
3 調布市視覚障害者福祉協会	35,000
4 調布市聴覚障害者協会	35,000
5 調布市遺族厚生会	35,000
6 調布市精神障害者家族会 かささぎ会	35,000
2 障がい者等の当事者グループ	105,000円
1 フリーフライト	35,000
2 CCD（調布市障害者協議会）	35,000
3 さるすべり	35,000
3 障がい者施設 （心身障がい者（児）通所授産施設、心身障がい者（児）通所訓練施設、	905,000円

作業所、デイサービス他)	
1 NPO 法人わかばの会 わかば第一事業所	55,000
2 NPO 法人わかばの会 わかば第二事業所	
3 NPO 法人わかばの会 わかば事業所	
4 NPO 法人ひなげしの会 第1ポピーの家	55,000
5 NPO 法人ひなげしの会 第2ポピーの家	
6 NPO 法人ひなげしの会 第3ポピーの家	
7 NPO 法人爽々苑 爽々苑	45,000
8 NPO 法人爽々苑 爽々苑やわらぎの家	
9 社会福祉法人調布を耕す会 しごと場大好き	45,000
10 社会福祉法人調布を耕す会 カフェ大好き	
11 NPO 法人エクセルシア リサイクルショップ不思議屋	35,000
12 NPO 法人クッキングハウス会 第1クッキングハウス (ティールーム)	55,000
13 NPO 法人クッキングハウス会 第2クッキングハウス (レストラン)	
14 NPO 法人クッキングハウス会 第3クッキングハウス (クッキングスター)	
15 NPO 法人リフレッシュ工房 リフレッシュ工房	35,000
16 NPO 法人羽ばたく会 めじろ作業所	35,000
17 NPO 法人ふみ月の会 ふみ月チャレンジ染地	45,000
18 NPO 法人ふみ月の会 ふみ月チャレンジたま川	
19 NPO 法人ポコポコ・ホッピング ポコポコ・ホッピング神代団地	45,000
20 NPO 法人ポコポコ・ホッピング ポコポコ・ホッピング富士見町	
21 NPO 法人なないろの会 クレヨンキッズ	45,000
22 NPO 法人なないろの会 れいんぼー	
23 NPO 法人にこにこの会 にこにこキッズルーム	45,000
24 NPO 法人にこにこの会 ふくふく	
25 医療法人社団研精会 山田病院 デイケアつつじヶ丘クラブ	35,000
26 社会福祉法人新樹会 創造印刷	35,000
27 社会福祉法人くすのき会 調布くすの木作業所	55,000
28 社会福祉法人くすのき会 シェア	
29 社会福祉法人くすのき会 結の里	
30 社会福祉法人新の会 はあと・ふる・えりあ	35,000
31 社会福祉法人大泉旭出学園 旭出調布福祉作業所	45,000
32 社会福祉法人大泉旭出学園 調布福祉園	
33 NPO 法人高次脳機能障がい者活動センター調布ドリーム	35,000
34 NPO 法人調布心身障害児・者親の会 ぴいす	45,000
35 NPO 法人調布心身障害児・者親の会 下石原ぴいす	
36 一般社団法人生活支援ネットアーリーバード アーリーバード	45,000
37 一般社団法人生活支援ネットアーリーバード アーリーバード柴崎	
38 NPO 法人ファーストステップ 就労継続支援B型事業所 ファーストステップ	35,000

4 認証保育所等	70,000 円
1 株式会社チャイルドランド あいあい保育園	35,000
2 株式会社リトルキッズ リトルキッズベルーガ	35,000
5 高齢者施設 (デイサービス、介護施設他)	150,000 円
1 社会福祉法人東京かたばみ会 高齢者在宅サービスセンター調布八雲苑	35,000
2 社会福祉法人桐仁会 ちょうふ花園	35,000
3 大和ライフネクスト株式会社 カノン調布	35,000
4 社会福祉法人至誠学舎立川 至誠ホーム調布若葉ケアセンター	45,000
5 社会福祉法人至誠学舎立川 至誠ホーム調布柴崎ケアセンター	
6 社会福祉協議会 (小地域交流事業など地域福祉活動事業費として)	230,000 円
7 福祉まつり運営経費	1,842,242 円
1 会場設営業務委託及びテント等賃借料	1,031,800
2 仮設電気工事費	99,000
3 音響設備費	110,000
4 清掃委託費	50,000
5 広報費 (ポスター・チラシ等)	109,984
6 その他事務経費	441,458
合 計	3,622,242 円

分析・課題

- 今年度は、調布駅前広場、総合福祉センター、グリーンホール小ホールを会場とした。駅前広場をメイン会場として実施したことにより前年度より集客増となった。また、他の関連イベントと同時開催することで福祉啓発にもつながった。
- 前回到引き続き、トレジャーツアーの抽選会をまつり終了前行うことによって、多くの来場者にファイナーレまで参加していただくことができたが、会場や実施時間などに課題があり、来場者の誘導が難しくなっている。
- 企画や参加団体等が増えることで会場が広範囲になり混乱を招きやすいため、来場者にわかりやすいように広報方法を検討する必要がある。
- 開催日当日に限らず、準備段階から開催後まで参加団体及び市民の交流の輪が広がる「カフェ&ショップめぐり企画」を来年度の福祉まつり開催まで実施となった。福祉まつりの目的や期待する効果に合わせて今後内容検討していく必要がある。

(2) 普及事業

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(2)①	会員募集運動	会費			

結果の概要

- 年間を通して、各種イベントや市内法人への協力依頼等を行ったことで会員募集をPR出来た。
- 幅広い世代に社協を知ってもらうことを目的に、当協議会のキャラクター「ちょビット」の着ぐるみを活用し各種イベントに参加した。

実績等

実施日	実施場所
7月4日(木)	民生児童員協議会会長会 1地区から6地区民生児童委員協議会
7月9日(火)	
7月11日(木)	
7月17日(水)	
7月5日(金)	手話講習会
7月8日(月)	調布市老人クラブ連合会理事会
11月30日(土)	第42回調布市福祉まつり
12月1日(日)	

分析・課題

- 土日のイベントでのちょビットの出演が少なく、地域の中でのPRは思うようにいかなかった。
- 集合住宅が増加し、自治会を組織していないところが増加しているため、今後は自治会を組織していない集合住宅へのアプローチを検討していく必要がある。
- 集められた会費の使い方を分かりやすく説明をしていくことで会員増加に繋げていきたい。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(2)②	赤い羽根共同募金運動				

結果の概要

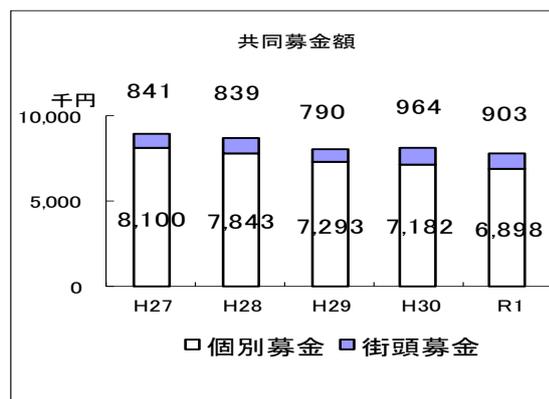
- 共同募金運動の推進のために、調布地区協力会に協力して募金活動を行った。
- 募金運動期間は10月1日～3月31日であるが、令和元年度はラグビーワールドカップの開催により、10月～11月を主な運動期間として募金活動を実施した。
- 募金運動は自治会、企業、調布市商工女性部の協力を得て実施した。また、街頭募金活動においては昨年同様、調布市少年野球連盟、調布市少年サッカー連盟、さるすべりシニア調布、FC東京、共同募金B配分を受配している市内2福祉施設の参加協力があった。
- 昨年に引き続き、FC東京の協力を得て、味の素スタジアムでの募金活動を実施した。
- 共同募金B配分の受配施設・団体にポスター掲示や募金箱の設置を依頼し、募金運動への協力を呼びかけた。

実績等

- 10月を主な募金運動期間とし、募金の受付は年間を通して行った。

①募金実績

方法	募金額
個別募金	6,898,400 円
街頭募金	902,888 円
合計	7,801,288 円



②理事会等開催状況

開催日	項目	内容
4月12日 (金)	監査	○平成30年度事業監査
4月22日 (月)	共同募金調布地区協力会 第1回理事会	○会長の選任について ○副会長の選任について ○常務理事の指名について ○平成30年度事業報告及び収入支出決算について ○平成30年度監査報告 ○平成31年度事業計画及び収入支出予算について ○社会福祉法人調布市社会福祉協議会 共同募金調布地区配分推薦委員会委員の推薦について
8月2日 (金)	共同募金調布地区協力会 第2回理事会	○令和元年度赤い羽根共同募金の実施について ○第31回福祉大会について ○今後の日程について
8月5日 (月)	東京都共同募金会説明会 (府中ふれあい会館)	○令和元年度共同募金運動について (事務局が出席)
9月11日 (水)	共同募金協力依頼及び取 り扱い説明会	○自治会長に出席いただき募金活動の協力依頼と取 扱いに関する説明会を実施した。
10月2日 (水)	第31回福祉大会	○共同募金協力者へ表彰等を行った。 《表彰状》継続協力3名・1団体 《感謝状》高額寄付4団体、継続協力29名・8団体
10月27日 (日) 11月3日 (土・祝) ・4日(日)	第8回赤い羽根少年野球 大会	○東京都共同募金会のキッズサポーター事業の一環 として開催した。 ○多摩地域の野球連盟を代表する28チームがトー ナメント形式で対戦した。 ○大会に出場した27地域のうち、過半数の野球連盟 が平成30年度街頭募金運動に協力した。

分析・課題

○募金額は、全体として34万円ほど前年を下回った。要因としては自治会を通しての募金額が減少したことが大きい。しかし、街頭募金やFC東京との協働企画によるピンバッジの売上げについては昨年を上回った。今後も引き続き、調布で集めた募金は調布の福祉活動に還元されることを大きくアピールしながら、積極的な働きかけを行っていきたい。

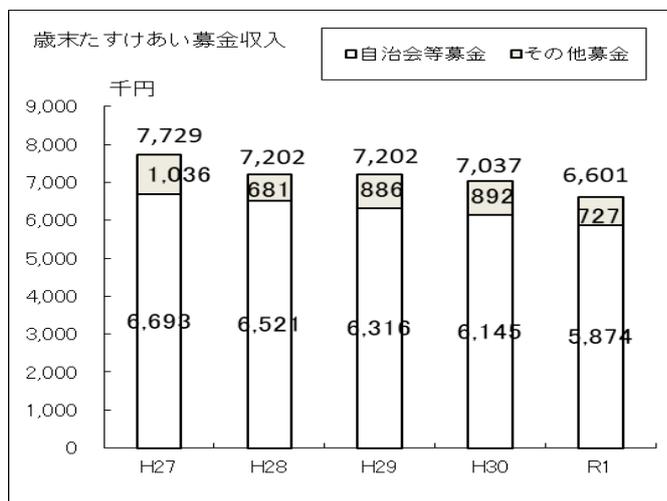
番号	事業名	財源			
		自主 歳	補助	委託	事業
(2)③	歳末たすけあい運動				

結果の概要

- 地域福祉活動を幅広く展開し充実させるため、自治会・調布市民生児童委員協議会、調布市商工会等の協力を得て、「歳末たすけあい運動」を実施した。
- 例年どおり、民生児童委員への依頼とともに、市内法人・個人にむけダイレクトメールで募金協力を依頼。しかし、自治会の解散や活動縮小により、他募金と同じように自治会募金額が落ち込み、総額も減少となった。

実績等

○12月1日～31日が募金運動期間であるが、当該年度の募金の受付は翌1月末までとしている。



①募金実績 (収入)

区分	件数	金額 (円)
① 自治会	252件	5,874,042
② 法人・団体	59件	543,347
③ 個人・他	62件	155,108
④ 募金箱	8件	7,893
⑤ H31.2～H31.3 受付募金 (前年度繰越金)	7件	21,500
⑥ R2.2～R3.3 受付募金 (次年度繰越金)	1件	4,900
合計	392件	6,606,790

※令和元年度は令和2年1月31日を精算日とし、それ以降の募金は次年度募金収入(繰越金)となる。そのため、当該年度募金実績は次年度繰越分を除いた①～⑤の合計額(6,601,890円)となり、当該年度決算額は前年度繰越分を除いた①～④、⑥の合計額(6,585,290円)となる。

(支出)

区分	件数	金額 (円)
東京都共同募金会へ納付※		6,107,227
事務費		494,663
R2.2~R2.3 受付募金 (次年度繰越分)	1件	4,900
合計		6,606,790

※翌年度の地域福祉活動費(相談事業、ひだまりサロン、みまもりあんしん訪問等の事業の経費)として配分される。

分析・課題

○全国的に募金額が減少傾向にあり、調布市においても同様である。解散や高齢化による自治会活動の縮小化の影響もあり今後の増額は難しい状況だが、地域福祉の向上に向けてPRの方法を工夫するなど、新たな取組が必要である。

(3) 宣伝事業

番号	事業名	財源			
		自主 会共歳基	補助 市	委託	事業 ○
(3)①	機関紙「ふくしの窓」の発行				○

結果の概要

- 社協活動の周知と福祉・地域に関する情報を発信するため、機関紙「ふくしの窓」を6回発行し、市内全戸にポスティング配布した。
- ポスティング作業については、福祉への理解と市内の障がい者・高齢者の雇用創出を目的として、調布市福祉作業所等連絡会及び公益社団法人調布市シルバー人材センターへ引き続き依頼した。
- 今年度より、すべての紙面をカラー化して、より見やすく親しみのもてる内容とするよう写真やイラストなどの活用に努めた。

実績等

発行部数	1回につき 117,830部
形式・内容	タブロイド版、8面構成。カラー印刷
発行日	奇数月の10日
配布方法	市内全戸へのポスティングによる配布、関係機関窓口、希望者への郵送
モニター	モニター12人より意見を聞き、紙面づくりに反映させた。
その他	7月号に会費の郵便振込用紙をミシン目で切り取れる形で掲載した。

分析・課題

- 昨年度より全号カラー印刷となったことで、写真の掲載を増やし、活動の様子や内容について伝わりやすい紙面になるよう心がけた。しかし、配色によっては見づらくなってしまいうこともあったため、今後も見やすい色使いや割付を検討していく。
- 特集や募集記事など掲載する事業に偏りが大きいため、今後は社協のあらゆる事業を多くの市民に知ってもらえるような紙面づくりが必要がある。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(3)②	社協ホームページの運営	会共歳基	市		○

結果の概要

- 常に最新の情報を得られるように、随時更新作業を行った。
- ホームページの問い合わせフォームを通じた問合せに対しては、各事業担当者と内容を確認しながらスピーディーな回答を心がけた。

分析・課題

- 最新の情報や知りたい情報が伝わりやすく、かつ更新作業も職員が速やかに対応できるようなホームページの作成について具体的に検討していく。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(3)③	「社協のしおり」の発行	会共歳基	市		○

結果の概要

- 令和元年度は2,500部発行した。
- 各部署と協力し、最新の情報とわかりやすい内容に務めた。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(3)④	地域マスメディアの活用				

結果の概要

- 調布FMの毎月第3木曜日午後1時30分から45分までの「調布市ほっとインフォメーション」の時間枠の中で、社協情報を紹介した。(計12回)

実績等

- 調布FM出演状況

4月11日	「高齢者会食」調理ボランティア募集 「ふれあい給食」協力員募集
5月16日	地域のつどい・送迎員募集・富士見ふれあいのつどい 生活困窮者自立相談支援事業
6月20日	調布市社会福祉協議会「会員募集」 障害者就労支援事業「就労支援室ライズ」
7月18日	保育のおしごと相談説明会/初任者研修受講生募 あんしん未来事業
8月15日	地域のつどい 受験生チャレンジ
9月19日	令和元年度赤い羽根共同募金運動 第31回調布市福祉大会

10月17日	さるすべりシニア調布（調布市老人クラブ連合会） こころの健康支援センター地域のつどい・布田わくわくひろばまつり
11月21日	令和元年度 歳末たすけあい運動 第42回 調布市福祉まつり
12月19日	令台風19号における調布市災害ボランティア活動-市民主体の活動を考える 放課後等デイサービス「ぴっころ」
1月23日	地域福祉権利擁護事業 調布市社会福祉協議会「会員募集」
2月20日	地域福祉活動支援事業助成団体募集 手話講習会・中途失聴難聴者手話講習会
3月19日	調布市いきいきクラブ調理運営協議会 ボランティア保険

分析・課題

○年間の出演テーマを精査し優先順位をつけるなどして、調整していく。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(3)⑤	ウインドウ美術館				

結果の概要

○総合福祉センター南側ウインドウを提供して、市内の高齢者・障がい者デイサービスや障がいのある当事者グループなどで活動する人たちが創作活動、リハビリ活動などで制作した個人作品、集団制作の発表の場とした。

○総合福祉センター北側ウインドウを提供して、市内の福祉施設の求人情報を掲示した。

5 関係機関との連携

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	役員等の他機関参画				

結果の概要

○調布市、東京都社会福祉協議会、関係機関の29の委員会等へ役員・職員が参加した。

実績等

○下記の派遣実績があった。

- 1 調布市特別職報酬等審議会へ会長を派遣
- 2 調布市防災会議へ会長を派遣
- 3 調布市民生児童委員推薦会へ会長を派遣
- 4 社会福祉法人東京都社会福祉協議会区市町村社会福祉協議会部会へ会長を派遣

- 5 社会福祉法人東京かたばみ会評議員会へ会長、理事（副会長）1人を派遣
- 6 調布市公民館運営審議会へ常務理事を派遣
- 7 公益財団法人調布ゆうあい福祉公社評議員会へ常務理事を派遣
- 8 東京都共同募金会調布地区協力会理事会へ常務理事、理事（副会長）1人を派遣
- 9 社会福祉法人調布市社会福祉事業団評議員会へ理事（副会長）1人を派遣
- 10 調布市高齢者福祉推進協議会へ職員1人を派遣
- 11 調布市介護保険認定審査会へ職員2人を派遣
- 12 調布市障害支援区分判定審査会へ職員1人を派遣
- 13 調布市障害者自立支援協議会委員へ職員1人を派遣
- 14 調布市総合交通計画策定等検討委員会へ職員1人を派遣
- 15 調布駅前周辺帰宅困難者等対策協議会へ職員1人を派遣
- 16 調布市FC東京情報交換会へ職員1人を派遣
- 17 調布市居住支援協議会に職員1人を派遣
- 18 調布市民健康づくりプラン推進連絡会へ職員1人を派遣
- 19 調布市地域福祉推進会議に職員1人を派遣
- 20 調布市特別支援教育連絡協議会へ職員1人を派遣
- 21 調布市立染地児童館運営会議委員へ職員1人を派遣
- 22 調布市立調布ヶ丘児童館運営会議委員へ職員1人を派遣
- 23 調布市子ども・若者支援地域ネットワークへ職員3人を派遣
- 24 調布市自治会連合協議会理事会へ職員1人を派遣（参与）
- 25 社会福祉法人くすのき会監事へ職員1人を派遣
- 26 社会福祉法人大泉旭出学園旭出調布福祉作業所第三者委員へ職員1人を派遣
- 27 社会福祉法人にじの会評議員へ職員1人を派遣
- 28 NPO法人調布心身障害児・者親の会理事へ職員1人を、監事へ職員1人を派遣
- 29 社会福祉法人新の会第三者委員へ職員1人を派遣
- 30 調布を耕す会の理事へ職員1人を、評議員へ職員1人を派遣
- 31 NPO法人にこにこの会理事へ職員1人を派遣
- 32 NPO法人調布ドリーム理事へ職員1人を派遣

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(2)	民生児童委員				

結果の概要

- 民生児童委員との連携強化のため各種協議会に参加し事業の周知、協力依頼などを行った。
- 「社協事業」の理解を得るために各地区の協議会において説明を実施した。
- その他、小地域交流事業等各種地域事業に、参加協力をいただいた。

実績等

- 民生・児童委員全員協議会、民生・児童委員会長協議会、地区民生・児童委員協議会、民生・児童委員各部会へ管理職、担当職員が適宜参加した。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(3)	自治会				

結果の概要

- 会員募集運動や募金運動の協力を要請するための説明会を開催した。
- 調布市自治会連合協議会の総会へ会長が出席した。また、会員募集リーフレットを配布した。
- 調布市自治会連合協議会の理事会に参加として職員1人を派遣した。(再掲)

実績等

- 自治会への説明会

回	開催日	内 容
第1回	6月12日(水)	令和元年度会員募集運動の協力依頼と説明会
第2回	9月11日(水)	令和元年度共同募金の協力依頼と説明会
第3回	11月13日(水)	令和元年度歳末たすけあい運動の協力依頼と説明会

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(4)	調布市自治会連合協議会				

結果の概要

- 協議会の理事に参加として職員1人を派遣し、理事会に出席した。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(5)	北多摩南部ブロック連絡会				

結果の概要

- 社協北多摩南部ブロック連絡会の総会や連絡会、研修会等に参加し、近隣5市社協での情報交換、交流を行った。(今年度幹事社協は、小金井社協)

実績等

会議・研修会等	開催日	内 容
第1回地権連絡会	7月2日(火)	① 地域福祉権利擁護事業の実施状況について ② 地域福祉権利擁護事業実施における課題について ③ 情報交換
第1回事務局長会	6月13日(木)	① 平成30年度事業報告及び決算について ② 令和元年度事業計画及び予算(案)について ③ 情報交換
会長等役員連絡 会総会 (小金井社協)	7月26日(金)	① 平成30年度事業報告、決算 ② 令和元年度事業計画、予算 ③ 講演会

第1回職員連絡会	7月9日(火)	① 令和元年度職員交流会について(企画) ② 情報交換
第2回地権連絡会	12月4日(水)	① 地域福祉権利擁護事業の実施状況について ② 地域福祉権利擁護事業実施における課題について ③ 情報交換
第2回職員連絡会	10月25日(金)	令和元年度職員交流会、研修会について(企画)
職員交流会	11月15日(金)	交流会(ポッチャ大会 参加者33人 会場:調布市社会福祉協議会会議室)
第3回職員連絡会	12月4日(木)	令和元年度職員研修会について(企画)
第2回事務局長会	12月10日(火)	① 令和元年度役員研修会について ② 情報交換
職員研修会	2月10日(月)	研修会(社協職員がこれだけは知っておきたい LGBTの 基礎知識 参加者28名 講師:新妻 敦子氏 会場:三鷹中央防災公園・元気創造プラザ3階会議室)
第3回地権連絡会	3月24日(火)	新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止
役員研修会 (小金井社協)	2月22日(金)	テーマ:「台風19号に対する各社協の取り組み」 調布社協、狛江社協より事例報告

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(6)	調布市福祉作業所等連絡会				

結果の概要

○調布市内障害福祉団体の情報交換及び共同作業事業を目的とする連絡会の事業に、「希望の家」「ドルチェ」「ぴっころ」が参加した。また、障がい者支援係と希望の家から事務局員を1名ずつ派遣した。

実績等

代表者会議	総会:平成31年4月25日(木) 会場:調布市こころの健康支援センター(団体室)
	第2回:令和元年6月27日(木) 会場:調布市こころの健康支援センター(団体室)
	第3回:令和元年7月17日(木) 障害福祉課との懇談 会場:たづくり西館 健康増進室
	第4回:令和元年8月22日(木) 会場:調布市こころの健康支援センター(団体室)
	第5回:令和元年10月24日(木) 会場:調布市こころの健康支援センター(団体室)
	第6回:令和元年12月13日(金) 会場:総合福祉センター(団体室)
	第7回:令和2年1月31日(木) 会場:総合福祉センター201・202
	第8回:令和2年2月25日(火) 調布市長との懇談

会場：たづくり西館 健康増進室		計8回
学習会等	<p>学習会 令和2年2月6日(木)</p> <p>障害福祉課講師より、相談支援事業所の役割について学ぶ</p> <p>グループディスカッション</p> <p>テーマ ①他害・自傷への対応について</p> <p>②性にまつわる課題について</p> <p>③魅力ある職場づくり</p> <p>施設交換研修</p> <p>平成31年10月～令和2年1月</p> <p>他の生活介護、放課後等デイサービス事業所等での研修</p>	参加者：59人
映画上映会	<p>映画上映祭 令和2年2月15日(土)</p> <p>映画「海洋天堂」 参加者150人</p>	
ほりで～ ぷらん	<p>調布市障害者余暇活動支援事業</p> <p>第1回：令和元年 7月13日(土) バスケットボールチーム交流</p> <p>第2回：令和元年 8月 4日(日) 夏季レクリエーションとパラアート活動</p> <p>第3回：令和元年 8月24日(土) 夏季レクリエーションとパラアート活動</p> <p>第4回：令和元年11月 9日(土) レジャーランドでアウトドアレクリエーション</p> <p>第5回：令和元年11月24日(土) レジャーランドでアウトドアレクリエーション</p> <p>第6回：令和2年 1月18日(土) アメフトチーム交流プログラム</p>	
ほっとハート	3市合同販売会 令和元年9月7日(土) 大國魂神社	
運動会	令和元年6月7日(土) 総合体育館 大体育場	参加者：300人

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(7)	地域包括支援センター連絡会				

結果の概要

○毎月第3木曜日に開催される連絡会に出席し、福祉健康部各課や包括支援センターと情報を共有した。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(8)	権利擁護連絡会				

結果の概要

○5・7・9・12・2月に開催された連絡会に参加し、高齢者支援室や包括支援センター、福祉総務課と事例等を通して権利擁護についての理解を深めた。3月に予定されていた拡大研修は、新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止となった。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(9)	調布市障害者地域自立支援協議会				

結果の概要

○調布市自立支援協議会のワーキンググループの一つを担い、障がい者福祉の相談及び支援機関・障がい者団体等を中心にネットワークづくりを進めた。(障害者相談支援事業を参照)

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(10)	調布地域精神保健ネットワーク連絡会				

結果の概要

○調布域精神保健ネットワーク連絡会の事務局を担い、医療と福祉が連携し、問題解決の方向性を検討しました。(調布市こころの健康支援センターの調布地域精神保健ネットワーク連絡会事務局を参照)

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(11)	調布市社会福祉法人地域公益活動連絡会（調布社福連）（重点項目）				

結果の概要

○調布市内における40の社会福祉法人同士が、フードドライブを通して横の連携が取れるようになった。6月に第47回調布市環境フェア、12月に第6回エコフェスタちょうふにおいてフードドライブを実施した。来場者へ取り組みを知っていただく、良い機会となった。

○年2回の連絡会の総会で、社会福祉法人と地域福祉コーディネーター及び地域支え合い推進員との意見交換の場を設け、今後の活動の基盤づくり、連携の強化をすすめた。しかし、法人により連絡会の取り組みへの参加状況には濃淡があり、今後も保育園等の増設により新しい法人が増えてくると予想されるため、連絡会への理解と参加の促進が課題となる。

実績等

総会 (40法人)	<p>第1回：令和元年5月13日（月）23法人（26人）参加 内容・平成30年度活動報告、決算・監査報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度活動計画・予算 ・会長、副会長、監事、幹事の選出 ・6月のフードドライブ（環境フェアの一環として実施） ・今後の取り組みについて地域別に3グループで意見交換 ・連絡会の略称を「調布社福連」とすることを確認 <p>第2回：令和2年1月17日（金）16法人（25人）参加 内容・講演会「地域共生社会の実現と社会福祉法人に期待されているもの ～社会福祉法人・事業所が地域とつながるために～」 講師：和田敏明氏 ルーテル学院大学名誉教授、(社福)東京聖労院理事長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ懇談：分野別に3グループで情報交換、意見交換
--------------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度の取組結果及び予定の確認 フードドライブ（6月・8月・12月） 幹事会（4月・8月・10月） 2月のフードドライブ ・令和2年度の予定について
幹事会 (7法人)	<p>第1回：4月15日（月）幹事法人7法人出席 内容・平成30年度活動報告、決算報告・監査の実施と報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度活動計画（案）、予算（案）の検討 ・第1回総会の内容、役割分担の確認 ・6月のフードドライブの実施について <p>第2回：8月26日（月）幹事法人7法人出席 内容・8月のフードドライブの結果報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12月のフードドライブ（「エコフェスタちょうふ」で収集）の確認 ・第2回総会における研修内容について検討 ・参加法人紹介冊子の作成について意見交換 ・新規の社会福祉法人への勧誘について報告 <p>第3回：10月21日（月）幹事法人6法人出席 内容・台風19号による避難、被災状況の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12月のフードドライブ（「エコフェスタちょうふ」で収集）の最終確認 ・第2回総会の内容を検討
実績	<p>第1回 フードドライブ 6月1日（土）～6月3日（月） 26法人が参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1,826点の食料品の収集と福祉施設等への配付 <p>第2回 フードドライブ 8月7日（水）～8月8日（木） 24法人が参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1,159点の食料品の収集と福祉施設等への配付 <p>第3回 フードドライブ 12月8日（日）～12月9日（月） 23法人が参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・914点の食料品の収集と福祉施設等への配付 <p>第4回 フードドライブ 2月6日（木）～2月7日（金） 21法人が参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1,309点の食料品の収集と福祉施設等への配付

6 計画の推進・策定

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	第5次調布市地域福祉活動計画の推進				

結果の概要

- 「第5次調布市地域福祉活動計画」の実現に向けて地域活動、地域福祉の向上を目指した。
- 行政計画である「調布市地域福祉計画」、「調布市高齢者総合計画」等とも連携・連動した。
- 地域福祉コーディネーター及び地域支え合い推進員が配置されている、北ノ台・深大寺小学校地域と染地・杉森・布田小学校地域をモデル地域として位置付けた。各部署から職員が参画することにより、様々な立場の専門性を活かしながら、地域のニーズに合わせた推進を図った。

<北ノ台・深大寺小学校地域>

○身近な地域で起こる「孤食」をテーマに、地域住民と会場を提供して下さる福祉施設職員で話し合いを重ね、2回のイベントを開催。また、YDAS2019にも参加し、ニーズ把握を行った。その後、令和2年3月に「子ども食堂深大寺東町」を立ち上げる予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響で延期となった。

<染地・杉森・布田小学校地域>

○災害時には全世代の共通課題ともなり得る坂や段差、川、移動手段などに着目し、地域住民とともに多世代に参加を促す工夫やアイデアを募るための話し合いを重ねた。その結果、「防災」と「福祉」をテーマに掛け合わせ、「防災まち歩き+福祉」を2回実施した。

7 苦情対応

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	苦情対応				

結果の概要

○苦情解決実施要綱に基づいた苦情の申出は0件であったが、寄せられた口頭又はメールでの苦情・要望は、サービスを改善する機会ととらえ丁寧な対応と即時性ある改善に取り組んだ。

○いただいた苦情・要望は、第三者委員会議へ報告し意見をいただいた。

実績等

○苦情・要望の種類別受付件数

	種類 (内容)	合計(件)
1	建物、環境整備の不具合や迷惑	1
2	職員の対応への不満	0
3	職員のケアレスミスの指摘	0
4	利用者サービスへの不満	0
5	その他事業内容への不満	2
6	会費や募金についての疑問や不満	0
7	その他	3
	合計	6

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(2)	第三者委員会議				

結果の概要

○2回の第三者委員会議を開催した。

- 調布市希望の家、希望の家深大寺も、別に2回の第三者委員会議を開催した。
- どちらも、苦情処理要綱に基づく苦情は無かったが、事務局で対応した市民からの苦情、ご意見、事故等に関する意見をいただいた。

8 個人情報保護

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	個人情報の保護				

結果の概要

- 事業利用に伴う契約時や申請時に個人情報取扱業務説明書を基に、利用者へ説明を行った。
- 個人情報を掲載する文書の使用に当たっては、使用目的を制限する取扱注意事項を明記し、個人情報の保護を徹底した。

9 危機管理体制

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	危機管理委員会、危機管理責任者の設置				

結果の概要

- 危機管理に対する職員の意識を向上し、事故の原因分析と防止のための改善策に取り組んだ。
- 事故・ヒヤリ・ハット報告で、係ごとに事故防止策に取り組んだ。
- 毎月実施される係長職以上の「運営会議」の中で、危機管理委員会を開催し、事故、ヒヤリ・ハット事例の報告を行った。
- 来所者の緊急時に備え、AEDの使用について学ぶ「普通救命講習」を実施した。
- 事故報告は定期的に、第三者委員会議、三役会、理事会に報告した

10 災害対策

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	災害時における事業継続計画（BCP）の推進				

結果の概要

- 災害時の安否確認に必要となる職員の緊急連絡網や事業の利用者名簿の更新を行った。

番号	事業名	財源			
		自主 基	補助	委託	事業
(2)	防災訓練の実施と備蓄品等の充実				

結果の概要

- 総合福祉センターの防災備蓄品の点検を行い、不足品目の補充を行った。また、期限切れの備品に関しては、新しい物と入替を行った。
- 3月23日(月)、総合福祉センターにおいて地震発生を想定し、館内利用者にも協力を要請し、シェイクアウト訓練を実施した。
- 5月、8月、12月の年間3回、職員及び施設管理委託業者と協働し、総合福祉センターの非常用放送設備の動作確認と館内の危険箇所の確認を行った。

実績等

○災害時用品一覧(令和2年3月31日現在) 保管場所: 1F ターンテーブル室倉庫

No	品名	数量	No	品名	数量
1	安全キャンドルライト	4台	2	電池ランタンライト	10台
3	ハロゲン強カライト	8台	4	単三アルカリ電池(40本入)	2箱
5	電池スペーサー(2個入)	16個	6	非常用ローソク(3本入)	9箱
7	イワタニカセットコンロ	3台	8	トーホーガスレンジ(8台入)	5箱
9	イワタニカセット用ガス(3本組)	6セット	10	アルミ鍋(39cm)	1個
11	お玉(アルミ製大)	2個	12	紙皿(50枚入)	1袋
13	紙深型小碗(50枚入)	2袋	14	紙深型ボウル(50枚入)	6袋
15	プラスチック深碗(25枚入)	1袋	16	箸(100膳入)	3袋
17	プラスチックスプーン(100本入)	3袋	18	救急セットB	1セット
19	救急セット多人数用(約50人分)	1セット	20	消毒用エタノールISP500mil(5本入)	2袋
21	手指用清浄ジェル1000mil	2本	22	防災用ウェットティッシュ(10枚入)	100個
23	担架	1台	24	土のう用ガラ袋	20枚
25	室内用ほうき	3本	26	土のう用シャベル(小)	16本
27	土のう用シャベル(大)	2本	28	外用竹ほうき	10本
29	ちりとり(プラスチック製)	4個	30	土のう袋(50枚入)	1袋
31	パイロン(赤色)	7個	32	パイロンバー(黄黒色)	7本
33	モップ	1本	34	養生テープ(緑色)	9個
35	サニータⅡ簡易トイレ	5台	36	サニータⅡ用袋スペア	5箱
37	サニタクリーン簡易トイレ(20枚入)	5袋	38	サニタクリーン簡易トイレセット	1箱
39	コクヨ非常用トイレNT2(100回分)	4箱	40	コクヨ非常用トイレNT2N(100回分)	6箱
41	寝袋190×84	6組	42	寝袋225×75	19組
43	非常用保温アルミシート(30枚入)	1箱	44	カロンエコ毛布	40枚
45	起毛レジャーシート	5枚	46	ヘルメット	31個
47	防災頭巾	2枚	48	プラメガホン(黄色)	10個
49	ホイッスル	3個	50	SBKケムリフード	20個
51	マスク(50枚入)	340箱	52	軍手(12組入)	10袋
53	使い切りゴム手袋(200組入)	1箱	54	使い切りビニール手袋(250組入)	1箱

55	安全長靴	11 足	56	折りたたみ傘(紺色)	5 本
57	防水シート 360×540	40 枚			

○災害時用食料品備蓄在庫一覧（令和2年3月31日現在） 保管場所：1F ターンテーブル室倉庫

No	品名	数量	No	品名	数量
1	アルファ米白飯（50食入）	2箱	2	アルファ米田舎ごはん（50食入）	1箱
3	レトルトカレーピラフ（50食入）	1箱	4	レトルト五目ごはん（50食入）	1箱
5	レトルトコーンピラフ（50食入）	1箱	6	野菜シチュー（20食入）	3缶
7	野菜シチュー（10食入）	2缶	8	チキンシチュー（10食入）	2缶
9	けんちん汁（約20食）	5缶	10	とん汁（約20食）	2缶
11	おでん缶（12缶入）	3箱	12	パンですよ！チョコチップ味（24個入）	1箱
13	パンですよ！レーズン味（24個入）	1箱	14	パンですよ！コーヒーナッツ味（24個入）	1箱
15	缶フルーツパインミカン（24個入）	1箱	16	缶野菜ジュース（30個入）	1箱
17	非常災害用ドロップス（10個入）	1箱	18	保存用ビスコ（5枚×3袋）×60ケース入	1箱
19	経口補水液パウダー（10包入）	4箱	20	保存水 500ml（24本入）	48箱

分析・課題

○災害備蓄品について、消費期限が切れたものの買い替えや追加購入を行っているが、備蓄数の見直しや備蓄品目の追加を計画的に行う必要がある。

○災害時における職員の意識向上のため、訓練の実施、円滑な備蓄品の入替えを行っていききたい。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(3)	災害等復興支援について				

実績等

○平成30年7月に発生した西日本の豪雨災害及び9月に発生した北海道胆振東部地震について、引き続き募金箱の設置を行い、集まった義援金を中央共同募金会及び北海道共同募金会へ送金した。

○令和元年9月に発生した台風15号及び10月に発生した台風19号による災害について、駅頭での募金活動及び募金箱の設置を行い、集まった義援金や支援金を千葉県共同募金会及び中央共同募金会へ送金した。

○台風15号・19号による災害の被災地へ、東京都社会福祉協議会の要請を受けて職員を派遣した。

○台風19号への対応で総合福祉センターを「福祉避難所」として開設した。

○台風19号による市内の被災者支援のため、「調布市災害ボランティアセンター」を開設した。センター閉鎖後も被災者からの相談、支援活動を継続して実施した。（第2部のP59参照）

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(4)	災害ボランティアセンターの準備				

第2部のP59参照